



# INTUOS<sup>®</sup> pro



Intuos Pro (PTH-451, PTH-651, PTH-851)

[Intuos Proのセットアップ](#)

[ペンを使う](#)

[ファンクションキーを使う](#)

[Intuos Proのマルチタッチ機能を使う](#)

[Intuos Proをカスタマイズする](#)

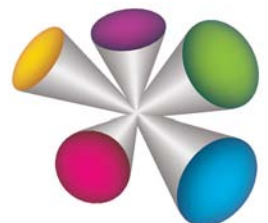
[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)

[複数の入力デバイスでの作業](#)

[Intuos Proをワイヤレスで使う](#)

[トラブルシューティング](#)

[テクニカルサポート](#)





#### 製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

#### 電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

#### 商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記していません。

#### 著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

#### Intuos Pro ユーザーズガイド

Version 1.0, Rev J3113

©2013 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。





## 目次

本書について	5	タッチホイールのカスタマイズ	34
Intuos Pro について	6	ペンタブレットを画面にマッピングする	35
システム要件	6	表示エリア	37
Intuos Pro ペンタブレット	7	タブレット操作エリア	38
ペンタブレット裏面	8	ボタン機能	39
ペン	9	ラジアルメニューの使い方と設定	46
Intuos Pro のセットアップ	10	マッピング画面切り替えを使う	47
ペンタブレットをコンピュータに接続する	10	特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定	49
USB 接続ケーブルの取り付け	10	特定のソフトウェアに対する設定を作成する	50
タブレットドライバをインストールする	11	特定のソフトウェアに対する設定を削除する	50
ペンタブレットの向きを設定する	12	複数の入力デバイスでの作業	51
ペンタブレットの操作エリアについて	13	タブレットモードの変更	51
マルチディスプレイへのマッピング	14	オプション設定	52
コントロールパネルの使い方	14	タブレット設定を管理する	53
Intuos Pro を使う	15	Intuos Pro をワイヤレスで使う	54
作業環境を整える	15	ワイヤレスキットの構成	54
ペンを使う	15	ワイヤレスキットの取り付け	55
ペンの持ち方	16	ワイヤレス通信の確立	56
ポインタの移動	17	ワイヤレス通信を最適化する	57
クリック	17	電池および電源管理	58
消しゴム	17	電池の充電	58
ドラッグ	17	電池およびワイヤレス通信の状態	59
傾きを使って描画する	17	省電力機能	60
筆圧を使って描画する	17	電池寿命について	61
サイドスイッチを使う	18	電池を交換する	62
ファンクションキーを使う	18	ワイヤレスモジュールを取り外す	63
特定のソフトウェアによるファンクションキーの標準機能	19	ワイヤレスレシーバーの保管	63
ワイヤレス通信のテスト	64	トラブルシューティング	65
トラブルシューティング	65	ペンタブレットのテスト	66
ペンタブレットのテスト	66	ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト	68
ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト	68	ファンクションキーのテスト	69
ファンクションキーのテスト	69	タッチホイールのテスト	69
タッチによる操作	25	ペンのテスト	70
タッチオプションを設定する	26	トラブルシューティング情報	71
ジェスチャーの個別設定	27	一般の問題	71
Intuos Pro をカスタマイズする	28	ペンの問題	72
ペン入力をカスタマイズする	29	タッチの問題	74
ペン先の感触とダブルクリックの調整	30	ワイヤレス通信の問題	75
テールスイッチ (消しゴム) の感触を調整する	31	Windows の問題	76
ペン先とテールスイッチ (消しゴム) の詳細な設定	31	Mac の問題	77
サイドスイッチのカスタマイズ	32	テクニカルサポート	79
ファンクションキーのカスタマイズ	33	ドライバのダウンロード	80





お手入れとメンテナンス	80
付録	81
芯を交換する	81
タブレットドライバのアンインストール	82
複数ペンタブレットの設置	83
タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う	84
上級者向けの設定を組み込む	85
エアブラシとアートペンを使う	86
マウスの使用	87
マウスボタンのカスタマイズ	88
マウスのテスト	90
Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能	91
製品情報	92
オプション品の注文	92
用語	93
索引	96
お問い合わせ／修理依頼票	98





## 本書について

本書は、[Intuos Pro](#) の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Mac コンピュータに共通するもので、特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



1つ前に表示したページに戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

- ご使用のディスプレイ上でユーザーズガイドのサイズを拡大するには、PDF ビューアのズームインツールを使用します。その他のツールの使用方法とユーザーズガイドの印刷については、ビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を表しています。
- ペンタブレットのタブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が同梱されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、仕様、およびソフトウェア使用許諾契約が含まれています。
- お客様のコンピュータのハードウェアないしオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。
- Microsoft Windows 8、Windows 7、および Windows Vista のインク機能のほか、多くのグラフィックソフトが筆圧機能および消しゴム機能に対応しています。これらの機能に対応するソフトウェアについては、ワコムホームページに記載されております。[\(製品情報](#)をご覧ください)

タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。





## Intuos Pro について

Intuos Pro は、すべてペン入力に対応しています。型番はペンタブレット裏面に表示されています。

Intuos Pro では互換性のあるワコム製の入力デバイス（付属のペン、または Intuos Pro に対応しているオプション品）以外は使用できません。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

Intuos Pro は、すべてタッチ機能に対応しています。[Intuos Pro のマルチタッチ機能を使う](#)をご覧ください。

ペンタブレットの梱包を解いたときは、必ず以下の部品やアクセサリが揃っていることを確認してください。

- Intuos Pro ペンタブレット本体
- グリップペン
- ペンスタンド（芯収納部付き）
- ワイヤレスキット（充電式リチウムイオン電池、ワイヤレスレシーバー、ワイヤレスモジュール）
- タブレットドライバ CD-ROM
- クイックスタートガイド（小冊子）
- 替え芯
- 芯抜き
- カラーペンリング
- USB 接続ケーブル

以上の梱包品が揃っていることをお確かめください。

Intuos Pro には、「アプリケーションダウンロードガイド」が同梱されています。

## システム要件

Intuos Pro をご使用されるコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- [Windows の場合](#)：Windows8、Windows7、Windows Vista の 32 ビットまたは 64 ビット版（最新の SP 適用）
- [Mac の場合](#)：Mac OS X 10.6 以降、Intel プロセッサを搭載した Mac
- USB ポート
- インターネット接続
- CD-ROM ドライブ（タブレットドライバを CD-ROM からインストールする場合）

補足：Windows、Mac どちらをお使いの場合でも、ワコムのホームページからタブレットドライバをダウンロードしてインストールすることができます（[タブレットドライバをインストールする](#)をご覧ください）。



## Intuos Pro ペンタブレット

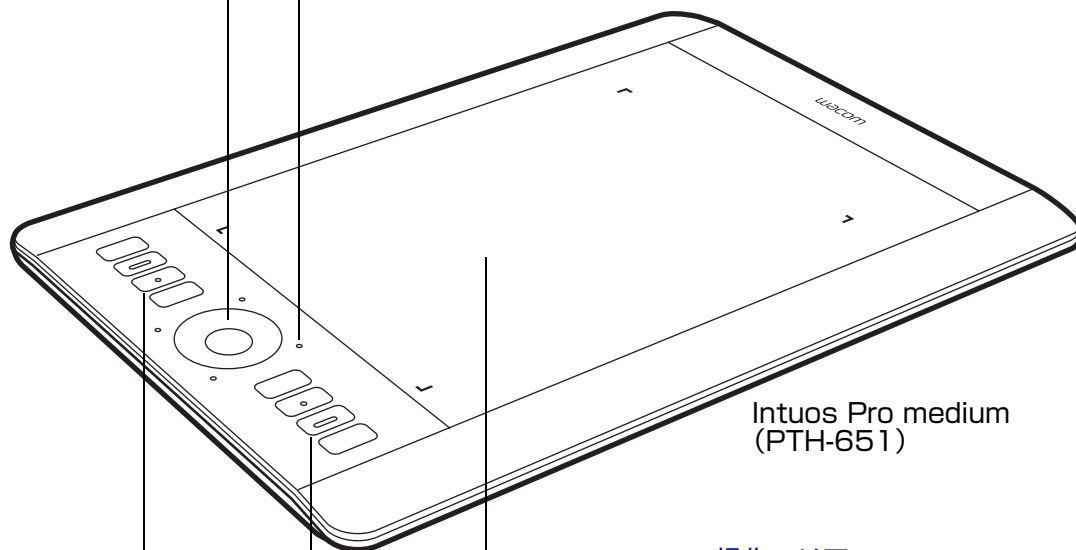
### [タッチホイール](#)

ホイール中央の切り替えボタンは、タッチホイール機能を切り替えたり、ワイヤレス通信時にスリープモードから復帰させることができます。

### ステータスランプ

- 利用可能な USB ポートに接続すると、ランプの1つが点灯します。
- 操作エリアをタッチしたときやペン、タッチホイールまたはファンクションキーを使ったときに明るく点灯します。
- タッチホイール機能を切り替えると、対応するランプが点灯します。

ワイヤレス通信については、[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。



Intuos Pro medium  
(PTH-651)

### [ファンクションキー](#) (カスタマイズ可能)

Intuos Pro small (PTH-451) では、ファンクションキーは6個です。

ファンクションキーでは、ほとんどの一般的なアプリケーションソフトウェアの個別設定を行うことができます。

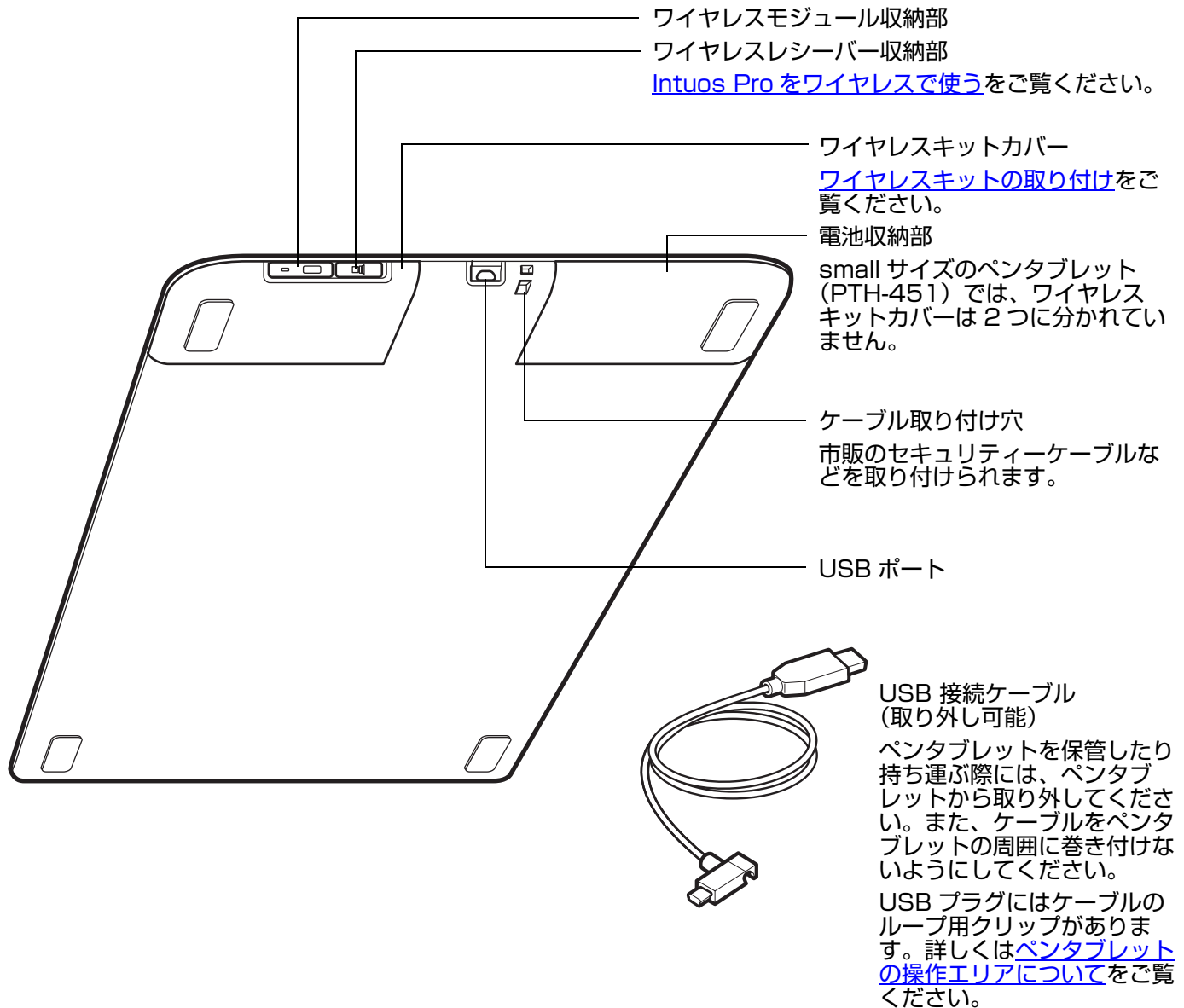
[エキスプレビューを使う](#)もご覧ください。

### [操作エリア](#)

操作エリアマーカー (ランプ) は、ペン入力とタッチ入力の操作エリアを示すためのランプです。[ペンと Intuos Pro のマルチタッチ機能を使う](#)をご覧ください。

操作エリアマーカー (ランプ) とステータスランプの明るさを設定する方法については、[オプション設定](#)をご覧ください。

## ペンタブレット裏面





## ペン

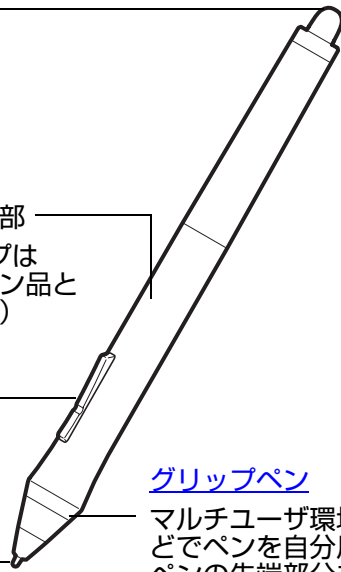
ペンタブレットのペンはすべてコードレス・電池レスです。

[テールスイッチ](#)  
(消しゴム)

グリップ部  
(グリップは  
オプション品と  
交換可能)

[サイドスイッチ](#)  
(取り外し可能)

[ペン先](#)  
(交換可能)

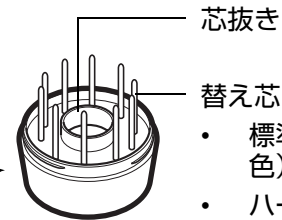


### [グリップペン](#)

マルチユーザ環境で作業する場合などでペンを自分用にしたいときは、ペンの先端部分を回して軸から外し、付属品のカラーペンリングを他の色と交換することができます。

### ペンスタンド

ペンスタンドの下部を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



芯抜き

替え芯

- 標準芯 (5本、黒色)
- ハードフェルト芯 (3本、グレー)
- エラストマー芯 (1本、中央が白色、外縁が黒色)
- ストローク芯 (1本、白色、バネ付き)



カラーペンリング  
(3個、グレー、赤色、白色)

ペンの機能をサポートしているソフトウェアについては[製品情報](#)をご覧ください。

## Intuos Pro のセットアップ

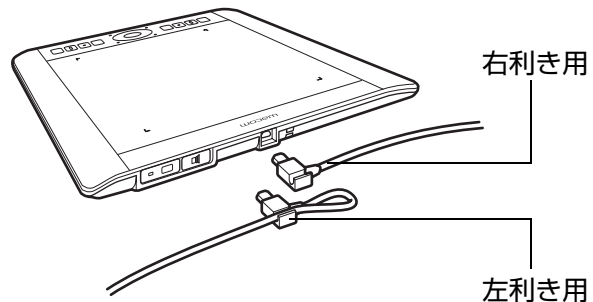
### ペンタブレットをコンピュータに接続する

ペンタブレットとコンピュータの接続に使う USB 接続ケーブルが付属しています。

- 図のように USB 接続ケーブルをペンタブレットに接続します。
- USB 接続ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータの USB ポートに接続します。接続が完了すると、ステータスランプが白く点灯します。

### USB 接続ケーブルの取り付け

1. USB 接続ケーブルはユーザの利き手に合わせて接続を変更できます。
  - 右利きの場合は、USB 接続ケーブルをそのまま接続します。
  - 左利きの場合は、USB 接続ケーブルで緩いループを作り、USB プラグのループ用クリップに押し込みます。
2. USB 接続ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータの USB ポートに接続します。



[タブレットドライバをインストールする](#)をご覧ください。

[ペンタブレットの操作エリアについて](#)  
[コントロールパネル概要](#)



## タブレットドライバをインストールする

Windows 8、Windows 7 のオペレーティングシステムでは、最初にペンタブレットをインターネットに接続されているコンピュータに、USB ケーブルで接続を行うとタブレットドライバが自動でインストールされます。電源ランプの点灯で接続を確認することができます。

タブレットドライバはタブレットドライバ CD-ROM、またはワコムホームページのユーザサポートページからダウンロードすることができます。

Windows Vista または Mac をお使いの場合は、タブレットドライバ CD-ROM またはワコムホームページからインストールしてください。

補足：ペンタブレットを使う前に、必ずタブレットドライバをインストールしてください。

タブレットドライバのインストール方法：

1. コンピュータでの作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。
2. タブレットドライバをインストールします。
  - Windows 8、Windows 7 の場合は、ペンタブレットとコンピュータを接続したときに自動で表示されるタブレットドライバインストールオプションを選択します。選択したタブレットドライバがワコムのホームページからダウンロードされてインストールされます。  
タブレットドライバはタブレットドライバ CD-ROM、またはワコムホームページのユーザサポートページからダウンロードすることができます。
  - Windows Vista または Mac の場合は、コンピュータの CD-ROM ドライブにタブレットドライバ CD-ROM を挿入します。インストール画面が表示されない場合は、タブレットドライバ CD-ROM のフォルダに表示される「インストール」または「スタートアップ」アイコンをダブルクリックします。ワコムホームページのユーザサポートのページからも手動でタブレットドライバをダウンロードすることができます。
3. 画面に表示される指示に従い、タブレットドライバをインストールします。
4. タブレットドライバのインストール完了後、ペンタブレットの表面上でペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

ペン先をペンタブレットの表面上に置くと、ポインタは直ちにペン先に合わせて移動します。ペン先を持ち上げ、ペンタブレットの表面上の異なる位置に移動すると、ポインタは再び新しい位置に移動します。

補足：更新情報については、タブレットドライバのダウンロードページからご確認ください。タブレットドライバ CD-ROM に同梱されている「製品に関する重要なお知らせ」の注意や警告をよくお読みください。タブレットドライバのインストールが正常に終了しない場合は、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ユーザはログオンした後、コントロールパネルで自分の個人設定をカスタマイズすることができます。ユーザが切り替わると、自動的に新しいユーザの個人設定を読み込みます。

ポインタをコントロールできない場合は、ペンタブレットの環境設定に異常が生じた可能性があります。現在の環境設定を削除して、ペンタブレットをお買い上げ時の設定状態に戻すことができます。環境設定管理の詳細については、[タブレット設定を管理する](#)をご覧ください。

タブレットドライバをインストールすると自動的にペン入力に対応した機能が利用できるようになります。

ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードするには[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

タブレットドライバをアンインストールするには[タブレットドライバのアンインストール](#)をご覧ください。

タブレットドライバが正常にインストールできない場合は、お使いのコンピュータのウィルス対策プログラムをご確認の上、一時的に無効にした状態でお試してください。



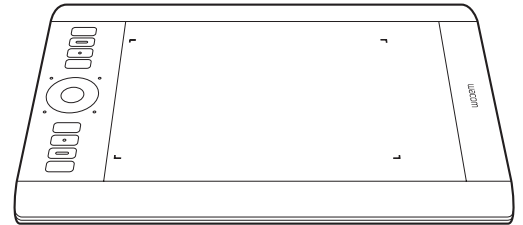
## ペンタブレットの向きを設定する

タブレットドライバのインストール中に、ペンタブレットの向きを選択するよう求められます。ここで選択した向きが、ペンタブレットの標準設定となります。

しかし、左利きまたは右利きのユーザに合わせて、いつでもペンタブレットの設定を変更することができます。利き手の設定を変更すると、自動的にファンクションキーとタッチホイールの設定が変更されます。

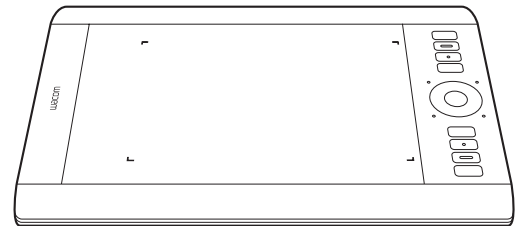
### 右利き用

- コントロールパネルを開いて、「[マッピング](#)」タブを選択します（[コントロールパネル概要](#)をご覧ください）。「ファンクションキーを左側」を選択します。ペンタブレットの設定（コントロールパネルのオプションも含む）が自動的に右利き用に調整されます。
- 次に、ペンタブレットの向きを変えて、ファンクションキーが左側に配置されるようにします。[USB 接続ケーブルの取り付け](#)をご覧ください。



### 左利き用

- コントロールパネルを開いて、「[マッピング](#)」タブを選択します。「ファンクションキーを右側」を選択します。ペンタブレットの設定（コントロールパネルのオプションも含む）が自動的に左利き用に調整されます。
- 次に、ペンタブレットの向きを変えて、ファンクションキーが右側に配置されるようにします。[USB 接続ケーブルの取り付け](#)をご覧ください。



ペンタブレット操作面でペンを上方向に動かして、向きが正しく設定されていることを確認してください。

### 縦長のディスプレイで作業する場合：

- 「ファンクションキーを上側」を選択し、ペンタブレットを時計回りに 90 度回転させて使用します。タッチホイールとファンクションキーは上側に配置されます。
- 「ファンクションキーを下側」を選択し、ペンタブレットを反時計回りに 90 度回転させて使用します。タッチホイールとファンクションキーは下側に配置されます。

**補足：**この操作により標準設定が変更されることはありません。このためログオンおよびユーザの切り替え画面では、タブレットドライバのインストール時に選択した向きでのご使用になります。標準設定としてのペンタブレットの向きを変えたい場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。

## ペンタブレットの操作エリアについて

Intuos Pro は、タッチ入力とペン入力を行うことができます。

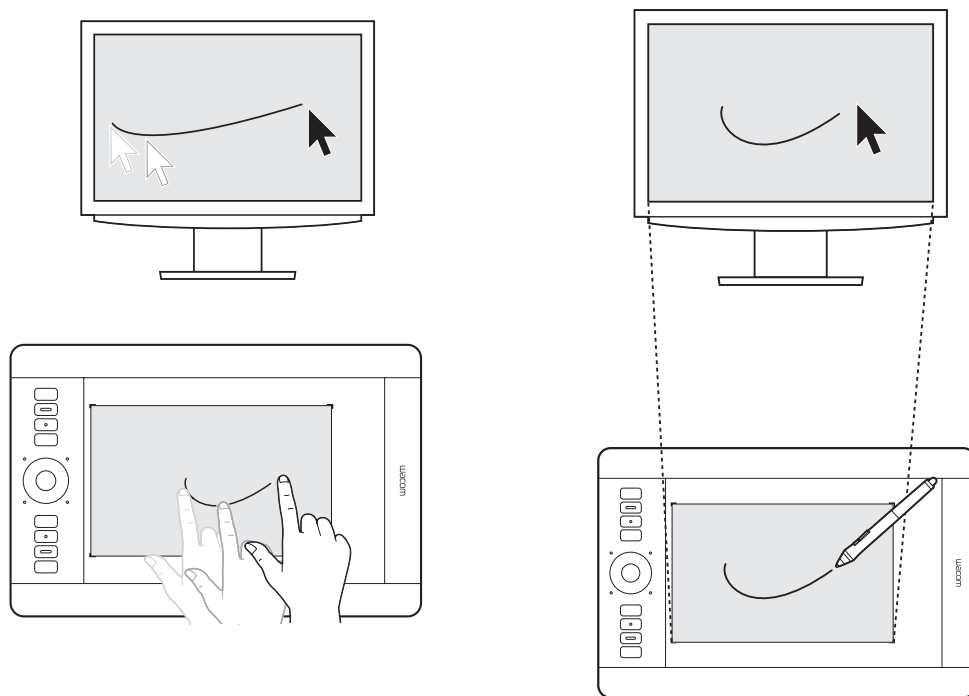
ペンタブレットの操作エリアとは、ペン入力やタッチ入力を検出するペンタブレット上の領域を指します。

ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）が操作エリア内（検出範囲内）にある場合、タッチ入力は無効になります。ペンタブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力が有効になります。

ペンタブレットの操作エリアにペンを置くと、ポインタは画面の対応する場所にジャンプします。画面のポインタはペンの位置を示し、タブレット操作エリアのペンの動作に従います。

補足：操作エリアはコンピュータ画面の表示域に割り当てられます。標準設定では、画面全体、またはディスプレイが複数ある場合はすべてのディスプレイに割り当てられています。ペン入力時のタブレット操作エリアとディスプレイ画面のマッピングを設定するには、[ペンタブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。

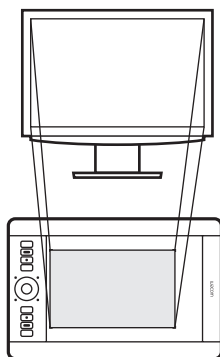
[Intuos Pro のマルチタッチ機能を使う](#)をご覧ください。ワコムのホームページに掲載されている Windows、Mac 共通のワコムジェスチャーガイドもご覧ください。



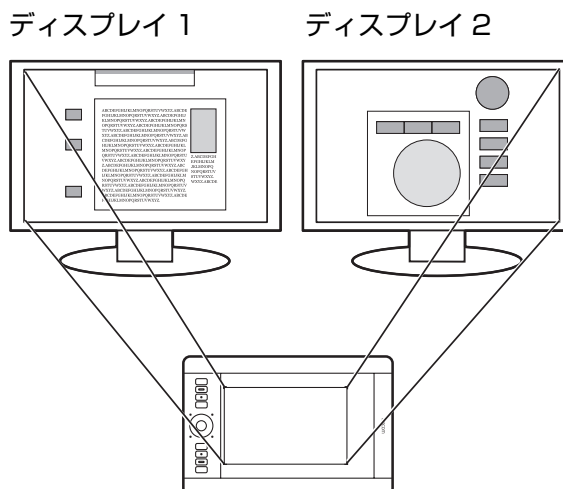
## マルチディスプレイへのマッピング

複数のディスプレイを使用する場合は、ペンタブレットは「画面のプロパティ」ダイアログのディスプレイ設定に基づいてディスプレイとマッピングされます。

- 複数のディスプレイが使われている環境で拡張ディスプレイモードをお使いの場合、ペンタブレットは複数のディスプレイを1つの大きなディスプレイとしてディスプレイ全体にマッピングします。



この例では、ペンタブレットとディスプレイが1対1でマッピングされています。



この例では、ペンタブレットの操作エリアがディスプレイ全体に対してマッピングされている状態をあらわしています。画面は2つのディスプレイに表示されています。

- ミラーモードをお使いの場合、ペンタブレットの操作エリアは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられ、ポインタも各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定の詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

- ヒント:
- 1つのディスプレイや、ディスプレイ領域の一部分に割り当てるように、ペンタブレットをカスタマイズすることもできます。[ペンタブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。
  - システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てることにより、メインのディスプレイと他のディスプレイ間で、ペンタブレットのマッピングを切り替えることができます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

## コントロールパネルの使い方

コントロールパネル（ワコム タブレットのプロパティ）では、Intuos Pro でのペン入力やタッチ入力の設定のカスタマイズが行えます。

### [コントロールパネル概要](#)



## Intuos Pro を使う

初めて Intuos Pro をお使いになるときは、この章をお読みください。また、[Intuos Pro のマルチタッチ機能を使う](#) もご覧ください。

**重要：**Intuos Pro では互換性のあるワコム製の入力デバイス（付属のペン、または Intuos Pro に対応しているオプション品）以外は使用できません。それ以外に入力デバイスは正しく動作しない可能性があります。[オプション品の注文](#) をご覧ください。

### 作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。ペンタブレット、ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。

できるだけ目に負担をかけない位置にディスプレイを設置してください。画面のポインタがペンタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにペンタブレットを置いてください。

[ペンを使う](#)

[ファンクションキーを使う](#)

### ペンを使う

Intuos Pro に対応したペンはコードレス・電池レスです。ペンタブレットのペンは筆圧を感知します。Intuos Pro では、オプションのペンを使用することもできます。[エアブラシとアートペンを使う](#) をご覧ください。

ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの4つです。ペンを使うことに慣れていない場合は、下記のページからの練習を行ってください。

**補足：**ペンのペン先かテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲（約 10 mm 以内）にあると、タッチ入力ができなくなります。ペンをタブレットの操作エリアから離すと、タッチ入力ができるようになります。

ペンの操作中に意図しないタッチ動作が生じる場合は、「タッチ機能 on/off 切り替え」に設定されたファンクションキーを押して、タッチ入力を無効にすることができます。ペンによる作業を終えたら、再度そのファンクションキーを押すと、タッチ入力を再開することができます。[ファンクションキーを使う](#) をご覧ください。

[ペンの持ち方](#)

[サイドスイッチを使う](#)

[クリック](#)

[消しゴム](#)

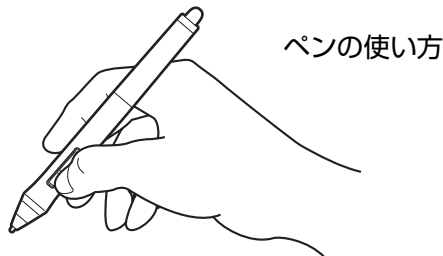
[ドラッグ](#)

[傾きを使って描画する](#)



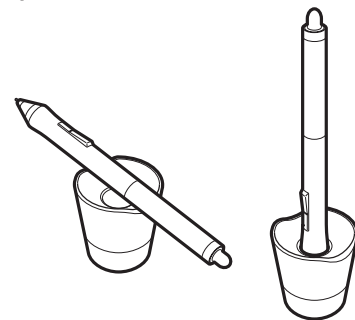
## ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。ペンを握る位置を調節し、サイドスイッチを親指または人差し指で簡単に切り替えることができるようにしてください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすいようにペンを傾けてご使用ください。



ペンタブレットからすぐ手の届くところにペンスタンドを置いてください。ペンスタンドには、ペンを立てるか横にして置いておくことができます。

- 重要：**
- ペンを使用しないときは、ペンスタンドに差すか、または机の上に横にして置いてください。ペンの感度を維持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）が押されてしまうような入れ物には収納しないでください。故障の原因となります。
  - Intuos Pro の入力デバイスをペンタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際に画面のポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合があります。







## ポインタの移動

操作エリアにペンを近づけるとポインタがペン先に合わせて移動します。ペンタブレットの表面に触れずにペンを少し上で動かしますとペン先に合わせてポインタが移動します。

## クリック

ペン先でペンタブレットの表面を 1 回軽くたたか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペンタブレットの表面に押し当てます。

ダブルクリックする場合は、上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でペンタブレットの表面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。

## 消しゴム

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、ペンのテールスイッチ（消しゴム）を消しゴムのように入使用することができます。

消しゴム機能に対応するソフトウェアについては、ワコムのホームページ (<http://wacom.com>)、および本書の[製品情報](#)をご覧ください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）に使うことができます。

## ドラッグ

ペン先をペンタブレットの表面に押し当てたまま移動させます。クリックで選択したオブジェクトを移動したり、クリックした位置からの範囲を選択することができます。

## 傾きを使って描画する

ペンを垂直位置から傾けると、タブレットがこれを認識します。グラフィックソフトのなかには、線の形や太さのコントロールに傾きを使用できるものがあります。これは、ペンを傾けた場合は線が太くなり、ペンを垂直にすると線が細くなるエアブラシと同じような機能です。ソフトウェアによっては、傾きを調整することで、ブラシの太さ、色、不透明度といった特性を決めることができます。

使用するソフトウェアで、ペンの傾き加減を調整するには、[ペン入力をカスタマイズする](#)をご覧ください。

## 筆圧を使って描画する

ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンやブラシのストロークを描きます。筆圧対応のソフトウェアは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧を使用して、線を引いたり、色を塗ったり、文字を書いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先でなぞるようにして操作エリアでペンを移動します。線を太く、または色を濃くするには、強く押します。線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧対応ツールを選択する必要があります。

ペン先の書き味を調整するには[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

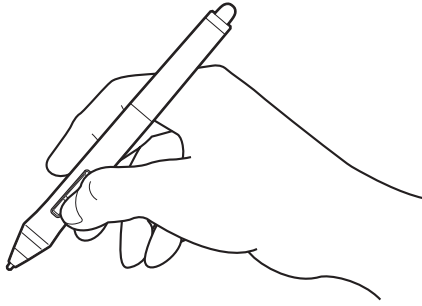
筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページをご覧ください（[製品情報](#)をご覧ください）。



## サイドスイッチを使う

ペンにはカスタマイズできる2種類の**ボタン機能**を備えたサイドスイッチが装備されています。ペン先がペンタブレットの操作エリアから高さ約 10 mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がペンタブレットにタッチしていなくても、サイドスイッチは使用できます。

サイドスイッチの標準設定



- 上側：ダブルクリック。サイドスイッチを押すことにより、ペン先で2回ペンタブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。
- 下側：右ボタンクリック。特定のソフトウェア、または特定のアイコンのメニューを表示させます。

**ヒント：**操作エリア内で書類または画像を任意の方向に移動させるには、サイドスイッチの1つに「スクロール / 移動」を割り当てます。次にサイドスイッチを押しながら、ペン先をペンタブレット操作面上で動かします。ウィンドウ内の書類または画像が任意の方向に移動します。ペンタブレット上でのペンの動きに合わせて、ウィンドウ内の書類あるいは画像が移動します。ペンのサイドスイッチを放すか、またはペンタブレットからペン先を離すと、「スクロール / 移動」は終了します。

ソフトウェアによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタと同じ方向に書類や画像が移動するだけの場合もあります。

新しいスイッチ機能を割り当てるには、[サイドスイッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

## ファンクションキーを使う

作業効率を上げるため、Intuos Pro にはファンクションキーとタッチホイールが搭載されています。ファンクションキーでは、よく使われる機能やキーストロークをワンタッチで実行できます。ファンクションキーやタッチホイールは、作業中にタッチ、ペンまたはその他の入力デバイスのプロパティを変更したいときに利用することもできます。

### 操作エリア

タッチ入力またはペン入力を検出するペンタブレット上の領域

### ファンクションキー

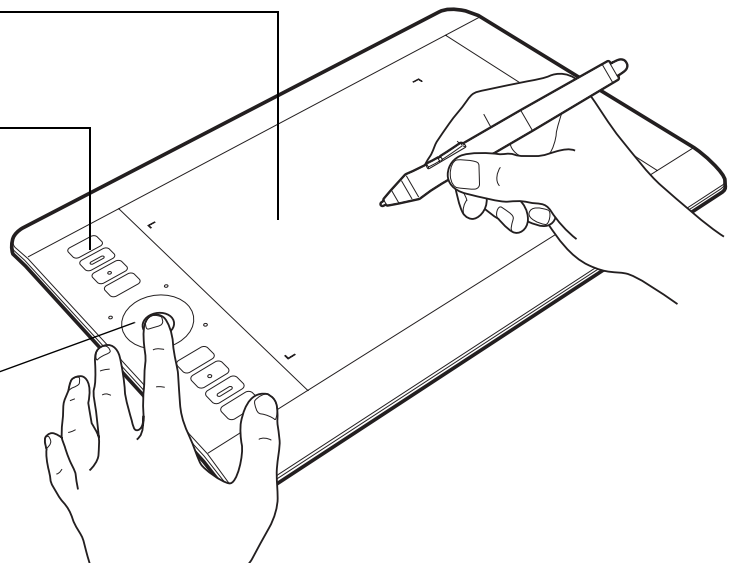
ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キーなどを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。

補足：図はファンクションキーが8個搭載された Medium サイズのペンタブレット (PTH-651) です。Small サイズのペンタブレット (PTH-451) にはファンクションキーが6個搭載されています。

### タッチホイール

タッチホイールの上を指でなぞると、ズームやスクロール、その他の割り当てた機能を実行できます。

中央のボタンを押すと、タッチホイールに割り当てられた4つの機能を切り替えることができます。



ファンクションキーにはあらかじめ標準機能が設定されています。

[ファンクションキーのカスタマイズ](#)および[タッチホイールのカスタマイズ](#)もご覧ください。



ファンクションキーの標準設定：

	<a href="#">タッチ機能 on/off 切り替え</a>	
	<a href="#">設定内容</a>	
	<a href="#">プレジジョンモード</a>	
	<a href="#">マッピング画面切り替え</a>	
	[Shift] キー	
	[Ctrl/Cmd] キー	
	[Alt/Opt] キー	
	<a href="#">スクロール / 移動</a>	

補足：Small サイズペンタブレット (PTH-451) のファンクションキーの標準設定は、上から順に次のようになっています：

タッチ機能 on/off 切り替え、設定内容、[Shift] キー、[Ctrl/Cmd] キー、[Alt/Opt] キー、スクロール / 移動

## 特定のソフトウェアによるファンクションキーの標準機能

Photoshop、Illustrator、Corel Painter など一般的なソフトウェアで作業をするときは、ペンタブレットのタブレットドライバがソフトウェアを検出し、ファンクションキーの標準機能をそのソフトウェアでよく使われている機能に自動的に設定します。

補足：特定のソフトウェア向けにファンクションキーをカスタマイズした場合は、その設定のほうがタブレットドライバによって自動で割り当てられるそのソフトウェア向けのファンクションキーの標準設定よりも優先されます。ファンクションキーの設定がソフトウェア向けにカスタマイズされていない場合のみ、標準設定が自動で有効になります。

ファンクションキーの現在の設定を確認するときは、任意のファンクションキーにタッチして画面にファンクションキーのアイコンを表示させます。アイコンにタッチすると、そのファンクションキーはハイライトされます。[エクスプレビューを使う](#)をご覧ください。

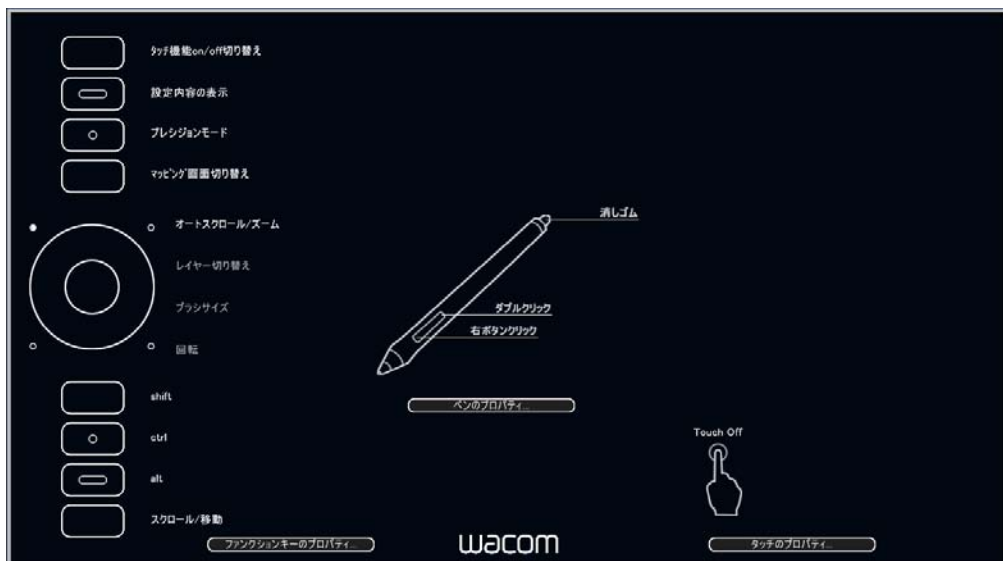
補足：2つのファンクションキーを組み合わせることで操作することができます。たとえば、1つのボタンに「Ctrl」を、別のボタンに「Alt」を設定します。両方のボタンを押すと、「Ctrl」+「Alt」が実行されます。



## エクスプレビューを使う

エクスプレビューを使うと、ファンクションキーの現在の設定をどのキーについてもすぐに見ることができます。

- 任意のファンクションキーを押し、画面にエクスプレビューを表示させます。タッチすると、そのファンクションキーがハイライト表示されます。
- 無効になっているファンクションキーは、無効と表示されるか、そのキー自体が表示されないこともあります。
- このビューは、2秒で画面から消えます。
- エクスプレビューの表示を無効にするには、コントロールパネルを開いて「ファンクションキー」タブを選択し、ボックスのチェックを外します。
- ペンやファンクションキーのすべての設定は、[設定内容](#)に割り当てたファンクションキーを押して表示することができます。



「タッチのプロパティ」をクリックし、タッチの設定をご覧ください。

機種によって表示あるいは設定の一部が異なる場合があります。

以下のようなファンクションキーの使い方もできます。

- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- よく使うファイルあるいはソフトウェアを起動するようにキーを設定します。
- お使いのペンのサイドスイッチを利用しない、または利用できない場合に、ファンクションキーのどれかに右ボタンクリックまたはダブルクリックをセットします。
- その他の割り当てられる機能から選択し、キーを設定します。[ファンクションキーのカスタマイズ](#)をご覧ください。

**重要：**ソフトウェアによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルからファンクションキーの機能をカスタマイズします。

[コントロールパネル概要](#)

[ファンクションキーのカスタマイズ](#)

## タッチホイールを使う

タッチホイールを使って、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。割り当てられたキーストローク機能を実行することもできます。



### 拡大

指でホイールを時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは拡大、または下方向へスクロールが行えます。タッチホイールの上部を軽くたたくと、割り当てられた機能が1つ進みます。



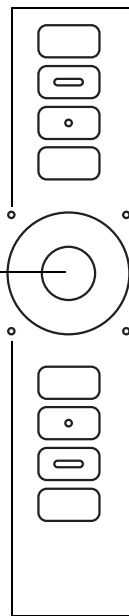
### 縮小

指でホイールを反時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは縮小、または上方向へスクロールが行えます。タッチホイールの下部を軽くたたくと、割り当てられた機能が1つ進みます。

タッチホイールがペンタブレットの左側になるように配置する場合の設定（標準設定）：

切り替えボタンを押すと、タッチホイールの4つの機能が切り替わります。機能が切り替わると、対応するステータスランプが点灯します。機能が設定されていないランプは、スキップして次に切り替わります。

切り替えボタンを押すと、現在のタッチホイールの設定内容が、ディスプレイ画面に少しの時間表示されます。



設定1：「オートスクロール/ズーム」 グラフィックソフトでホイールはズームに、他のソフトウェアではスクロールに設定されます。ソフトウェアによっては、ズームがスクロールとみなされたり、あるいは全く機能が働かない場合があります。同様に、スクロールがズームとみなされたり、全く働かない場合もあります。

設定2：「レイヤー切り替え」 Adobe Photoshop で、ファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向または下方向に切り替えることができます。円に沿って時計回りになぞると、上方向のレイヤーへと切り替わります。

設定3：「ブラシサイズ」 Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

設定4：「キャンバスの回転」 Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり反転させることができます（Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応）。

タッチホイールの設定を変更するには、[タッチホイールのカスタマイズ](#)をご覧ください。

**重要：**ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルからタッチホイールの機能をカスタマイズします。

[コントロールパネルの使い方](#)  
[タッチホイールのカスタマイズ](#)

## コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、Intuos Pro または入力デバイスをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、グリップペンまたはその他の入力デバイスと「タッチパネル」アイコンが「入力デバイス」リストに表示されます。

カスタマイズする場合は、該当するタブの項目を変更します。設定をいろいろ試して、最適な設定を見つけてください。変更した設定内容はすぐに反映されます。標準設定に戻すには、「標準設定」ボタンをクリックします。

各アイコンはお使いの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」の設定を示しています。

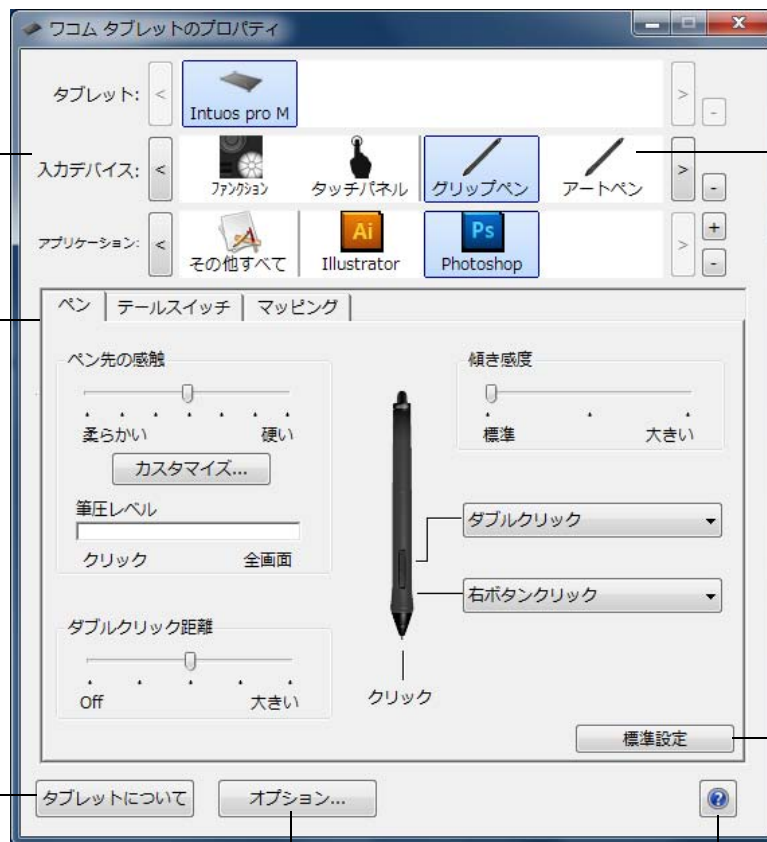
ファンクションキー、タッチホイール、およびラジアルメニューの設定をカスタマイズする場合は、「ファンクション」を選択します。マルチディスプレイでお使いの場合は、「マッピング画面切り替え」オプションが利用できます。

タッチ入力については、「タッチパネル」を選択してタッチの設定をカスタマイズします。[タッチオプションを設定する](#)をご覧ください。

「グリップペン」を選択し、ペンの設定をカスタマイズします。ペンタブレットの操作面で一度ペンを使用すると、このアイコンを選択することができます。入力デバイスごとに名前を変更することもできます。

タブには、選択したペンやマウスに対してカスタマイズが可能な設定が表示されます。

ペンタブレットとソフトウェアの情報、および「診断」ダイアログボックスにアクセスするオプションも表示されます。



タブの設定を標準設定の状態に戻します。

[オプション設定](#)をご覧ください。

ユーザズガイドをダウンロード、または表示します。

コントロールパネルを開きます。

- **Windows 8 の場合**：Windows 8 のスタート画面から「ワコム タブレットのプロパティ」タイルを選択するか、画面の右端からチャームを表示して、「検索」を選択し、検索ボックスに「タブレットのプロパティ」を入力して、アプリで表示される「ワコム タブレットのプロパティ」をクリックします。
- **Windows 7 および Windows Vista の場合**：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- **Mac の場合**：アップルメニューから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

ほとんどのコントロールパネルの項目の上にヒントが表示されます。項目の上に画面のポインタを置いて静止させると、ヒントがすぐにポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。

**コントロールパネルリストとタブ：**コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」リストから、目的のペンタブレット、入力デバイス、アプリケーション（ソフトウェア）を選択して設定を変更します。

「タブレット」リストには、現在、コンピュータに接続されていて、タブレットドライバがサポートしているペンタブレットのアイコンが表示されます。リストの下に表示される設定はすべて、選択したペンタブレットに適用されます。

- コントロールパネルは、タブレットドライバに対応したペンタブレットがコンピュータに接続されないと表示されません。
- ペンタブレットがコンピュータに接続されていないと、コントロールパネルリストからペンタブレットを削除することはできません。



現在、選択されているものがハイライトされます。

[複数ペンタブレットの設置およびタブレットモードの変更](#)をご覧ください。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」およびペンタブレットで使われている入力デバイスのアイコンが表示されます。

特定の入力デバイスをカスタマイズするには、「入力デバイス」リストの該当するアイコンをクリックし、該当するタブを表示します。

**補足：**ペンタブレットの操作面で一度ペンを使用すると、そのペンは自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。このとき、ペンの各機能は標準設定です。

[複数の入力デバイスでの作業](#)をご覧ください。

「アプリケーション」リストを使うと、特定のソフトウェアに対してのみ適用されるペンやマウスの設定を定義できます。[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

**補足：**「アプリケーション」リストは必要に応じて設定してください。



## Intuos Pro のマルチタッチ機能を使う

Intuos Pro は、作業をより効率よく行えるように設計されています。タッチ機能により、ペンタブレット上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

ペンタブレットでは、ノートパソコンなどの Mac デバイスまたは Windows デバイスと同様に、タッチ機能を使うことができます。オペレーティングシステム (Windows または Mac) によって、一部のタッチジェスチャーは異なります。初めにタップやドラッグなどのポインタ操作に慣れてから、スクロール、ズーム、回転などのジェスチャー操作を行うとよりスムーズにお使いいただけます。

ペンタブレットの操作エリアを指で触れると、タッチ入力が可能になります。[ペンタブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。

- タッチ入力をするときは、指を操作しやすい間隔に開いてください。指同士をぴったりとくっつけてペンタブレットに置くと、1本の指を使った操作と判断されたり、操作やジェスチャーがどの指で操作されたのかを識別しにくくなることもあります。操作中、すべての指は必ず操作エリア内に置いてください。
- もっとも操作しやすい方法でタッチ入力を行ってみてください。ジェスチャー中は不用意なタッチを避けるように注意してください。たとえばズームまたはスクロール中に、操作エリアに小指や手のひらが触れた場合に、不要な右クリックが実行されたりすることがあります。

[タッチによる操作](#)

[タッチオプションを設定する](#)





## タッチによる操作

Intuos Pro では、タッチ機能により、ペンタブレットの操作エリア上で指を動かすだけでコンピュータを操作することができます。[ペンタブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。

各タッチオプションは、コントロールパネルから有効 / 無効を切り替えることができます。「タッチオプション」タブの「タッチ入力を有効にする」にチェックを入れると、タッチオプションは有効になります ([タッチオプションを設定する](#)をご覧ください)。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行します。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行します。ジェスチャーによっては、ペンタブレットにジェスチャーが認識されたことを知らせる視覚表示が、表示画面に表れます。

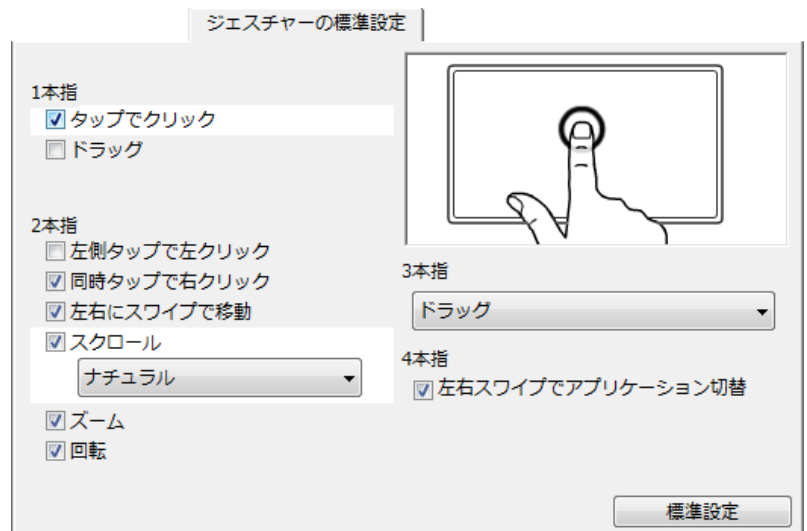
右クリックなど一部の機能は別の操作やジェスチャーでも実行することができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

オプションを選ばなければ、自動的に一番上のオプションから順に画像が表示されます。

この機能は、ファンクションキーに割り当てて変更することもできます。

[ジェスチャーの個別設定](#)もご覧ください。



上の画面は Windows での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

- [ファンクションキーのカスタマイズ](#)を行って、さらに別のタッチ機能を実行することもできます。
- コントロールパネルの「入力デバイス」リストから「タッチパネル」(タッチアイコン表示) を選択し、カスタマイズしたいタブに切り替え、利用可能なオプションを選んで設定を変更します。

### [ジェスチャーの個別設定](#)

## タッチオプションを設定する

「タッチオプション」タブを選んで設定します。

ここでは、タッチ操作やジェスチャー操作を感知するための速度を設定します。

トラッキングおよびナビゲーション用に、ポインタの速度を調節します。ポインタをゆっくり動かしたい場合は、「遅い」にスライドします。ポインタを素早く動かしたい場合は、「速い」にスライドします。

ダブルクリックを認識させるための速さを調節します。設定をテストするには、「テスト」エリアにポインタを置き、2回タップします。

チェックを入れてタッチ入力を有効にします。

「スクロールスピード」でジェスチャーによるスクロールの速度を設定します。

画面のポインタの加速度レベルを設定します。ペンタタブレット上の指の動きに対する反応を遅くするときは「低」に、速くするときは「大きい」にスライドします。

タッチオプション

タッチ入力を有効にする

ポインタの速度

遅い 速い

スクロールスピード

遅い 速い

ポインタの加速

低 大きい

ダブルタップの間隔

より長く システム

テスト

標準設定

補足：タッチ速度と加速度の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。これらの設定を変更しても、通常のマウスの設定に影響はありません。ただし、通常のマウスの設定を変更すると、ペンタタブレットの設定に影響することがあります。

## ジェスチャーの個別設定

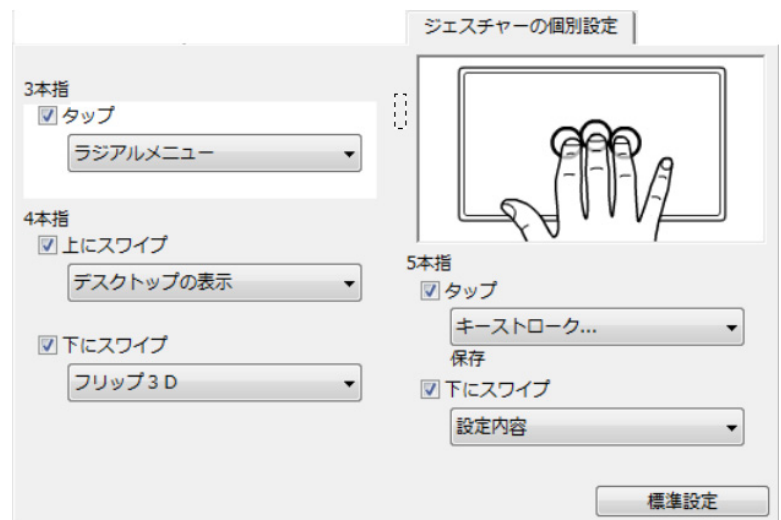
タッチジェスチャーをカスタマイズする場合は、「ジェスチャーの個別設定」タブを選択します。

選択した[タッチ](#)ジェスチャーを使うことができます。また、実行されるオプションを、プルダウンメニューから選んで変更することができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

オプションを選ばなければ、自動的に一番上のオプションから順に画像が表示されます。

[タッチによる操作](#)もご覧ください。



上の画面は Windows での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。



## Intuos Pro をカスタマイズする

Intuos Pro のコントロールパネルを使って、使いやすいように Intuos Pro をカスタマイズできます。操作に慣れたユーザーは、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)を作成することで、Intuos Pro を最適な状態でお使いいただくことができます。

### [コントロールパネル概要](#)

#### [ペン入力をカスタマイズする](#)

#### [タッチオプションを設定する](#)

#### [ペンタブレットを画面にマッピングする](#)

#### [ボタン機能](#)

#### [マッピング画面切り替えを使う](#)

#### [特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)

#### [複数の入力デバイスでの作業](#)

#### [タブレットモードの変更](#)

#### [オプション設定](#)

コントロールパネルを開きます。

- Windows 8 の場合：Windows 8 のスタート画面から「ワコム タブレットのプロパティ」タイルを選択するか、画面の右端からチャームを表示して、「検索」を選択し、検索ボックスに「タブレットのプロパティ」を入力して、アプリで表示される「ワコム タブレットのプロパティ」をクリックします。
- Windows 7 および Windows Vista の場合：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- Mac の場合：アップルメニューから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

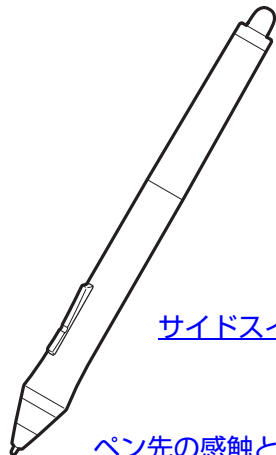
Intuos Pro はコントロールパネルからカスタマイズすることができます。コントロールパネルでは、お使いの機種 of 最新モデル、および設定に当てはまるタブとオプションのみ表示されます。[コントロールパネルの使い方](#)をご覧ください。

補足：タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。



## ペン入力をカスタマイズする

ペンのカスタマイズは簡単に行うことができます。ペンを使用してコントロールパネルを開きます。ペンが「入力デバイス」リストで自動的に選択され、適切なタブが表示されます。ペンが自動的に選択されない場合、「入力デバイス」リストから選択します。タブを選択し、使用可能なオプションから選択します。



[テールスイッチ（消しゴム）  
の感触を調整する](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)  
[ペン先とテールスイッチ（消しゴム）の詳細な設定](#)  
[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)

ワコムではオプション品として、アートペンやエアブラシなど各種のペンを提供しています。

- アートペンは筆圧対応のペン先と消しゴムを搭載し、傾き検出と回転機能にも対応しています。ペン軸の回転はカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現し、この機能に対応しているソフトウェア内でユニークな効果を生み出します。
- エアブラシは、アナログのエアブラシの感覚そのままに作業できるデジタルエアブラシです。筆圧対応のペン先と消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、デジタルペイントのソフトウェアを制御します。

これらの入力デバイスは、タブレットドライバでサポートされています。これらのペン先でペンタブレットの操作面に触れると、コントロールパネルの「入力デバイス」リストにアイコンが表示されます。コントロールパネルは自動的に更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ対象のオプションが表示されます。

これらの入力デバイスに対応したソフトウェアでは、ソフトウェア内でアートペンの回転やエアブラシのホイール機能の調節などを行うことができます。詳しくは、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

これらのオプション品についてのさらに詳しい情報、また Intuos Pro で使用可能なその他のオプション品については、ワコムのホームページをご覧ください。ワコムのホームページでは、現在これらの入力デバイスの新機能に対応しているソフトウェアを確認することもできます。



## ペン先の感触とダブルクリックの調整

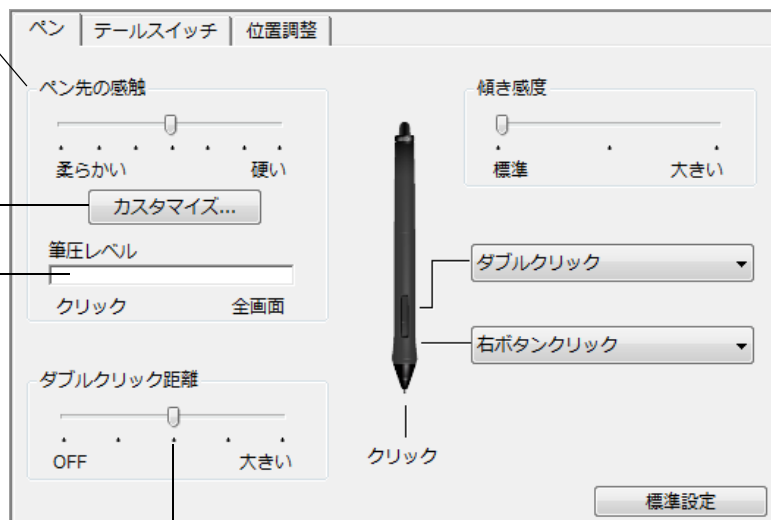
ペン芯の感触や感度を調整するときは、「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたり色を塗ったりする際に必要な「ペン先の感触」をカスタマイズします。

太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、スライダを「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、スライダを「硬い」に設定します。

クリックし、ペン先の感度をさらに細かくカスタマイズします。

ポインタをコントロールパネルの何もない領域に置き、ペン先でタブレットの操作エリアを押して「ペン先の感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



ダブルクリックと認識するクリック間の距離を調整します。[ダブルクリックアシスト](#)を必要としない場合は、スライダを OFF の位置へドラッグします。

- ヒント：
- 「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
  - ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。
  - ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリック距離を大きくします。
  - グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチまたは[ファンクションキー](#)を使用して[ダブルクリックをする設定](#)もできます。



## テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する

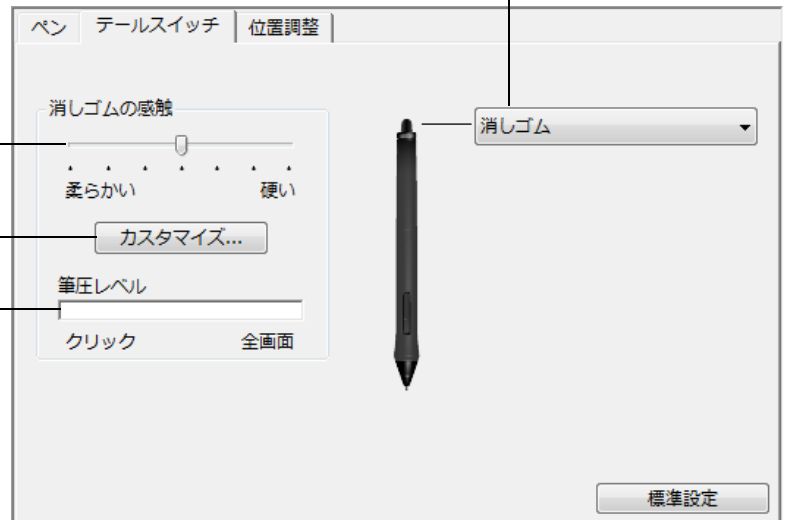
ペンでテールスイッチ（消しゴム）の感触を調節するには、「テールスイッチ」タブを選択します。

テールスイッチ（消しゴム）を使うときに必要な筆圧をカスタマイズします。スライダをドラッグして柔らかい、または硬いに設定します。

テールスイッチ（消しゴム）を使用する場合に実行する **ボタン機能** を選択します。

クリックすると、テールスイッチ（消しゴム）の感触をさらに **細かくカスタマイズ** することができます。

ポインタをコントロールパネルの何も無い領域に置き、テールスイッチでタブレットの操作エリアを押して「消しゴムの感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



## ペン先とテールスイッチ（消しゴム）の詳細な設定

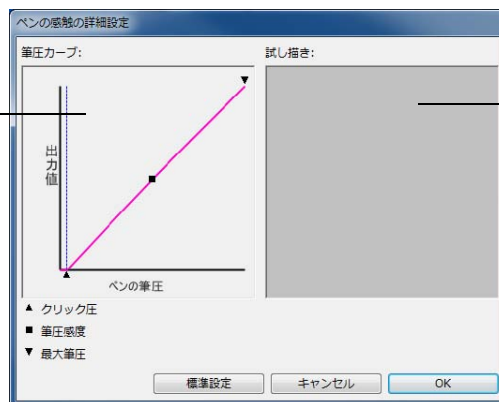
ペン先あるいはテールスイッチ（消しゴム）の筆圧を設定する場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ...」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックと判定される筆圧の設定を変更できます。

筆圧カーブは、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示したものです。

筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。

- 「クリック圧」は、筆圧の登録やペン先でのクリックに必要な荷重を設定します。
- 「筆圧感度」を調節し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。



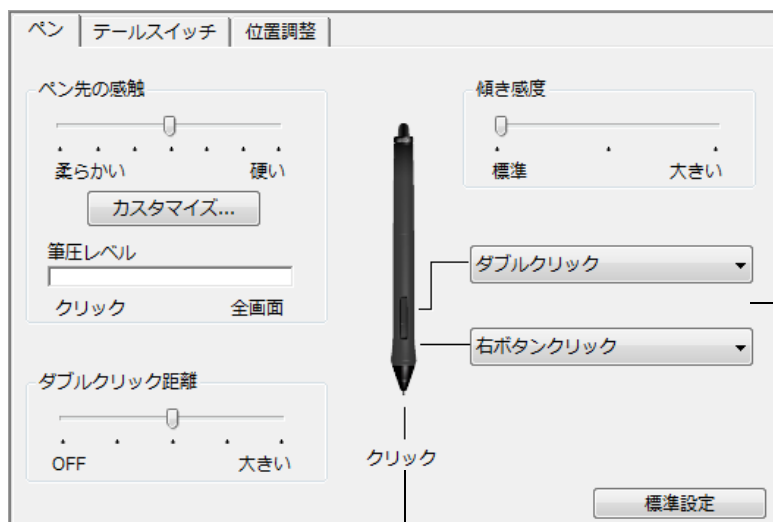
ペン先、またはテールスイッチ（消しゴム）を使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

**重要：**「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダと詳細な設定は連動しているため、変更される際にはご希望に合う設定画面をお使いください。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。



## サイドスイッチのカスタマイズ

お使いのペンのサイドスイッチとペン先に割り当てられた機能を変更するには、「ペン」タブを選択します。



上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働く **ボタン機能** を選択します。

ペンタブレットにペンを接触させずに、表面から 10 mm 以内にペン先を近づけて、上部、または下部のサイドスイッチを押した場合、設定した機能が働きます。

ヒント：「ダブルクリック」を、上部のサイドスイッチ（標準設定）、または下部のサイドスイッチに設定すると、簡単にダブルクリックを行うことができます。

傾き感度：

スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。傾きの設定はペン先およびテールスイッチ（消しゴム）の両方に適用されます。

傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

この位置をダブルクリックすると、ペン先の機能が変わります。

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。ペンのボタンのいずれか1つを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

補足：右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。[オプション設定](#)をご覧ください。





## ファンクションキーのカスタマイズ

ファンクションキーをカスタマイズするには、「ファンクションキー」タブを選択します。各キーは、マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロークなどの機能をカスタマイズすることができます。

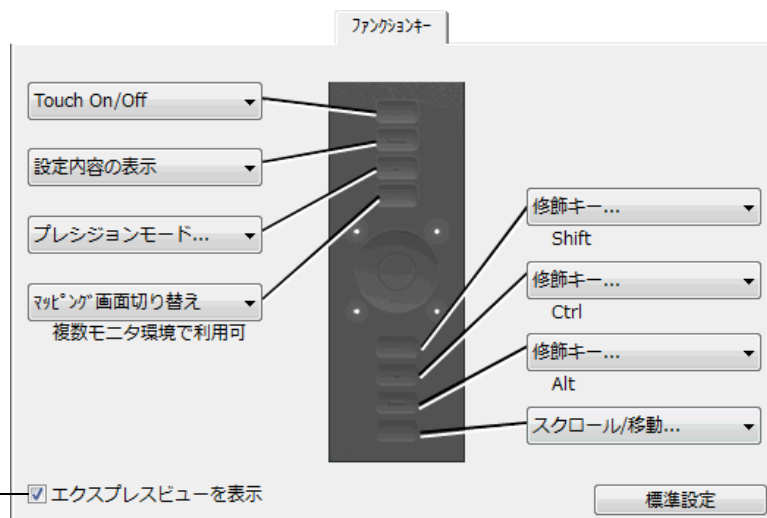
「ファンクションキー」タブを選択すると、現在設定されている各ファンクションキーの機能が表示されます。

各キーを押した場合に実行される機能をプルダウンメニューから選択します。

ファンクションキーは、特定のソフトウェアごとに設定することができます。設定については、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

さらに知りたいときは、[ファンクションキー](#)をご覧ください。

補足：small サイズのペンタブレット (PTH-451) では、ファンクションキーは6個です。



上の画面は、右利きの場合を例にしています。

エキスプレビューの表示を無効または有効にします。

無効にした場合、ファンクションキーの上に指を載せても設定内容は画面表示されません (有効にした場合は表示されます)。[エキスプレビューを使う](#)をご覧ください。

**重要：**ソフトウェアによっては、ファンクションキーの機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。



## タッチホイールのカスタマイズ

タッチホイールをカスタマイズするには、「タッチホイール」タブを選択します。ズーム、スクロール、あるいはカスタマイズ可能なキーストローク機能を実行するように、タッチホイール機能を変更することができます。



タッチホイールで実行する機能を選択します。カスタマイズ可能な4つの機能を切り替えることができます。

これによって、ズーム速度やスクロール速度、キーストローク情報をソフトウェアに送る速度を調整できます。

タッチホイール機能は、[ソフトウェアごとに設定](#)できます。

詳細については[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール設定の表示を有効または無効にします。

ヒント：• タッチホイールに他の操作を設定するには、「キーストローク」オプションを選択し、[キーストローク](#)機能を定義します。ソフトウェアによるキーストロークショートカットのサポートについては、ソフトウェアに付属する取扱説明書をご覧ください。

- 「スキップ」を選択すると、切り替えの順番からスキップされるようにタッチホイールの切り替えボタンを設定できます。
- Adobe Photoshop CS3以降で、ポインタの位置する画像をズームするには、「Photoshop」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択します。続いて「スクロールホイールでズーム」オプションをチェックして、「OK」をクリックします。
- タッチホイールのステータスランプと操作エリアマーカーの明るさを調節する場合は、コントロールパネル最下部の「オプション」ボタンをクリックします。「オプション」ダイアログボックスで、必要に応じて「明るさの調整」の設定を変更してください。

**重要：**ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

[ファンクションキーのカスタマイズ](#)

[タッチホイールのカスタマイズ](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)



## ペンタブレットを画面にマッピングする

「マッピング」タブを選択して、タブレット操作エリアでの入力デバイスの動作とディスプレイ画面でのポインタの動作の関係を設定します。

標準設定では、ペンタブレットの操作エリア全体がディスプレイ全体にマッピングされます。複数のディスプレイを使用中の場合、ペンタブレットはすべてのディスプレイにマッピングされます。[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。



「タブレットの向き」はタブレットごとに設定され、この設定は、すべての入力デバイスとソフトウェアに適用されます。[ペンタブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。

選択する「座標検出モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。

- 「ペンモード」では、ポインタの動作がペンタブレット上のペン先の位置に対応するよう設定されます。これによって、ペンタブレット上にペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントまでジャンプします。これは絶対座標で、ペンの標準設定です。
- 「マウスモード」では、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

表示エリア：[表示エリア](#)をご覧ください。

タブレット操作エリア：[タブレット操作エリア](#)をご覧ください。

画像はすぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したペンタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。ペンタブレットで円を描いてもディスプレイ画面では楕円になることがあります。全ての入力デバイスについての標準設定です。

「縦横比を保持」にチェックを入れると、正確な縦横比が保持されます。ペンタブレットで円を描くとディスプレイ画面でも円が描かれます。設定によりですが、このオプションが選択されている場合、ペンタブレットの操作エリアで利用できない領域があります。



「マッピング」タブでマウスモードを選択すると、マウスモードに対応した項目が表示されます。

選択する「座標検出モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。

- 「ペンモード」では、ポインタの動作がタブレット上のペン先の位置に対応するよう設定されます。これによって、タブレット上にペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントまでジャンプします。これは絶対座標で、ペンの標準設定です。
- 「マウスモード」では、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

「デジタルインク機能を使う」にチェックを入れると、ペンタブレット接続時のペン入力での「プレスアンドホールド」、「フリック」などのWindowsのデジタルインク機能が有効になります。



ポインタの加速を設定します。ポインタの速度を設定します。

補足：画面の[ラジアルメニュー](#)を使用して、ペンモードとマウスモードを切り替えることもできます。

ペンモードとマウスモードをよく切り替える場合は、ペン、マウスまたはペンタブレットのボタンに「[ペン⇄マウスモード](#)」機能を割り当てることもできます。

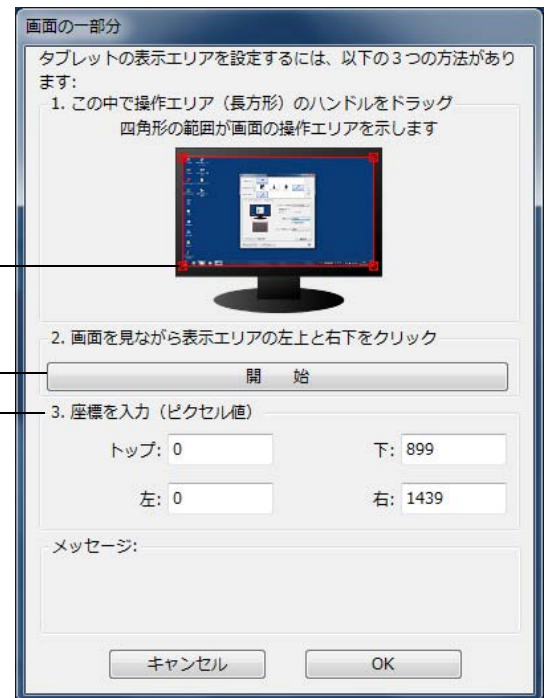
## 表示エリア

お使いのペンタブレットがディスプレイ画面のどの部分にマッピングされるかを定義するには、コントロールパネルの「マッピング」タブから「表示エリア」オプションを選択します。

- |          |  |
|----------|--|
| 全画面      | 複数のディスプレイ全体を 1 つの大きな画面とします。標準設定です。 <a href="#">マルチディスプレイへのマッピング</a> もご覧ください。 |
| 一部領域 ... | 表示されるダイアログボックスから、表示画面の一部を定義する方法を選択してください。                                    |

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。
- 「開始」ボタンを選択し、画面のポインタを動かして表示エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。
- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力する方法です。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

画面の一部を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、違う入力デバイスを使用してください。



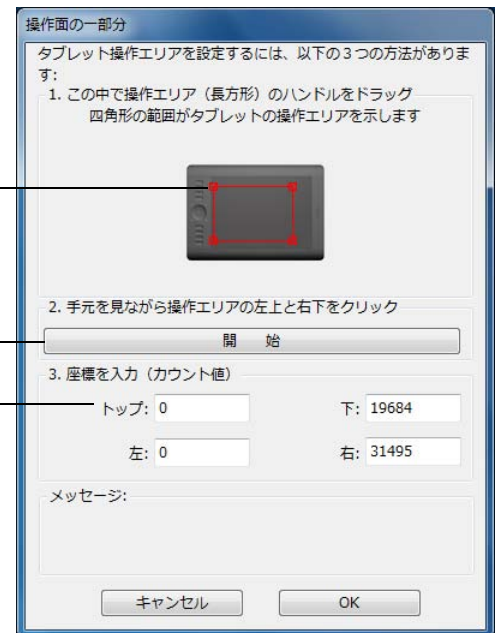
- |          |   |
|----------|---|
| モニタ (数字) | 1 つ選んだディスプレイの領域全体に割り当てられます。複数のディスプレイがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのディスプレイにオプションを適用できます (たとえば、2 つのモニタが接続されている場合、モニタ 1、モニタ 2 でそれぞれオプション設定ができます)。 |
|----------|---|

## タブレット操作エリア

ディスプレイ画面に割り当てられるペンタブレット上の操作領域を定義するには、「マッピング」タブの「タブレット操作エリア」オプションを選択します。

全画面	ペンタブレットの操作エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
一部領域 ...	表示されるダイアログボックスから、操作面の一部を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、選択した表示エリアに割り当てるタブレット操作エリアを設定します。
- 「開始」ボタンを選択し、入力デバイスを使ってタブレット操作エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。
- タブレット操作エリアの上、下、左、右の境界に数値を入力する方法です。





## ボタン機能

作業スタイルに合わせて Intuos Pro をカスタマイズできます。サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイールまたはラジアルメニューの設定に割り当てられたボタン機能を、コントロールパネルから簡単に変更することができます。機種により、割り当てることができる機能は異なる場合があります。スイッチやキー、あるいは機種により利用できない機能もありますのでご注意ください。

機能	説明
クリック	
• クリック	ペン先の標準設定です。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右ボタンクリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	デバイスボタンを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、テキストブロックを選択したりする場合に便利です。
• 第4ボタンクリック	マウスの第4ボタンクリック（戻る）に相当します。
• 第5ボタンクリック	マウスの第5ボタンクリック（進む）に相当します。



## 機能

## 説明

## キーストローク ...

キーストロークを実行することができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが開きます。手動で、1つのキーストロークまたはキーストロークの組み合わせを「キー」ボックスに入力することができます。キーストロークには、文字キー、テンキー、「F3」のようなファンクションキー、修飾キー（Windowsでは「Shift」、「Alt」、「Ctrl」、Macでは「shift」、「option」、「command」、「control」キー）を組み合わせることができます。「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択します。キーストロークの組み合わせを入力したら、「OK」をクリックします。

**重要：「Enter」キー（Windows）および「return」キー（Mac）は、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに使用しないでください。必ず入力デバイスを使用して「OK」をクリックしてください。**

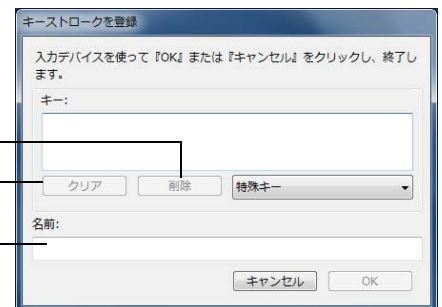
キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれのコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最新の入力のみを削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。

定義したキーストロークに任意の名前を設定することができます。



タッチホイールまたはマウスホイールにキーストロークを割り当てる場合、ダイアログボックスには2つの「キー」入力ボックスが表示されます。

上記で述べたように、タッチホイール上での時計回りおよび反時計回りの回転動作やマウスホイールの奥と手前への回転動作にキーストローク機能を割り当てます。

割り当てた一組のキーストロークに任意の名称を設定してください。



各ソフトウェアがどのキーストロークショートカットに対応しているかについては、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。



## 機能

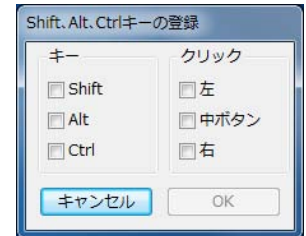
## 説明

## 修飾キー ...

修飾キー（Windows の「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーや、Mac の「shift」、「option」、「command」、「control」キーなど）を割り当てることができます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してオブジェクトの大きさや位置を限定します。

キーオプションをチェックして選択します（複数可）。

「クリック」オプションのどれかをチェックすると、対応するマウスポタンを押すことと同じ働きをします。



## ラジアルメニュー

画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。

## 戻る

ブラウザの「戻る」コマンドに相当します。

## 進む

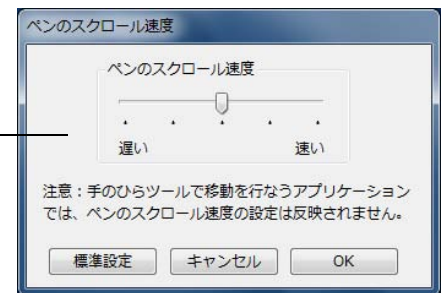
ブラウザの「進む」コマンドに相当します。

## スクロール / 移動 ...

ペン入力のためのオプションです。文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。「スクロール / 移動 ...」に設定されたサイドスイッチを押して、ペンタブレットの操作エリアでペン先をドラッグします。

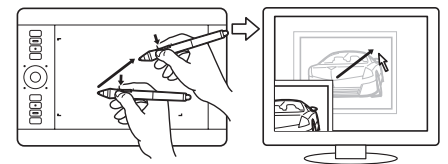
「スクロール / 移動 ...」を選択すると、手のひらツール（ピクセルレベル）でのパン機能をサポートしていないソフトウェアでのスクロール速度を設定することができます。

設定を遅くするとスクロール速度が下がることから、画像の正確な制御が必要な細かい作業がやりやすくなります。

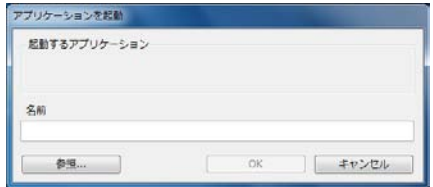


タブレット上でペン先を動かすと、画面上の文書や画像が移動します。

移動を終了する場合は、サイドスイッチから指を離す、またはペンタブレットからペン先を離してください。





機能	説明
オートスクロール／ズーム	この機能をタッチホイールに設定すると、ほとんどのグラフィックソフトウェアではズーム操作が、他のソフトウェアではスクロール操作が行われるようになります。
スクロール	タッチホイールにスクロール動作を設定します。
ズーム	タッチホイールにズーム動作を設定します。
デスクトップの表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	「タスク切り替え」ダイアログボックスが表示され、起動中のソフトウェアから前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。Aero を搭載した Windows 7 および Windows Vista のシステムでは、フリップ 3D が起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
開く / 起動 ...	<p>ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。</p> <p>「参照 ...」 ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。その選択でよければ「OK」をクリックします。</p>  <p>ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがデバイスボタンオプションとして割り当てられます。次回デバイスボタンを押すだけで、割り当てられたオプションが起動します。</p> <p>ラジアルメニューを選んだ場合、その場所に表示されるようになります。</p>
タッチ機能 on/off 切り替え	<p>「タッチ機能 on/off 切り替え」は、ペンモードのみで作業したい場合に便利です。</p> <p>「タッチ機能 on/off 切り替え」を割り当てたファンクションキーを押すことによって、一時的にタッチ入力を無効にします。タッチを有効にするには、再度このファンクションキーを押します。<a href="#">ファンクションキーのカスタマイズ</a>をご覧ください。</p>
Ink 文字認識 ON/OFF	(Mac のみ) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Mac のヘルプをご覧ください。
Exposé	(Mac のみ) 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ...」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを押している間、筆圧を現在の筆圧レベルに保ちます。たとえば筆圧感度を使って描画をし、筆の太さが希望のレベルになったところでボタンを押すと、ボタンを離すまでは同じ太さで描画できます。



## 機能

## 説明

## プレジジョンモード

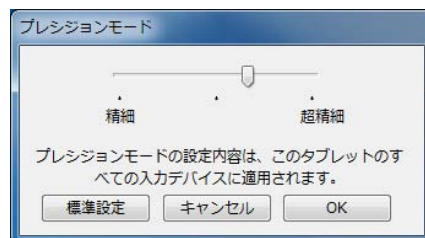
ペン先位置周辺のマッピングの比率を変更し、一定の距離ポインタを動かすには、ペンをそれより長い距離動かさなければならないよう設定します。この機能は、ペンまたはブラシで正確な軌跡を書きたい場合に役立ちます。

この機能をデバイスボタンに割り当てると、プレジジョン設定を調節できるようになります。

機能を有効にするには：

- **ずっと使う場合**、機能を割り当てたデバイスボタンを押すと、「プレジジョンモード」に切り替わります。再度同じデバイスボタンを押すと、通常のマッピングに戻ります。
- **そのときだけ使う場合**、機能を割り当てたデバイスボタンを押し続けます。デバイスボタンを離すと、通常のマッピングに戻ります。

ペンやマウスがマウスモードの場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。



## マッピング画面切り替え

マルチディスプレイシステムで使用します。この機能の割り当てられたファンクションキーを押すと、マッピングとポインタを現在のディスプレイから別のディスプレイへ切り替えることができます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

## ペン⇄マウスモード ....

[ペンモード](#)と[マウスモード](#)を切り替えます。マウスモードの設定は「マッピング」タブの座標検出モードから「マウス」を選択して加速と速度を調整します。

マウスモードの場合は、ポインタの速度を設定します。

マウスモードの場合は、ポインタの加速を設定します。



マウスモードは、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」は、カスタマイズ中のソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。コントロールパネル内で設定を変更しても、システム側の同内容の設定に影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、お使いのタブレット設定に影響する場合があります。

## 機能

## 説明

## 消しゴム

「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

## 設定内容

ファンクションキー、タッチホイール、ペン、およびタッチのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧を画面に表示します。現在割り当てられている機能が表示されます。



「設定内容」のファンクションキーやタッチホイール、ペン、タッチの各項目をクリックすると、対応するコントロールパネルのタブが開きます。続いて必要な設定変更を行います。

この機能が割り当てられているファンクションキーやその他のデバイスボタンを再度押すか、または画面の各項目以外の領域のどこかをクリックすると、「設定内容」が閉じます。

お使いの機種によっては表示や設定の一部が異なる場合があります。



機能	説明
タブレット PC	
<ul style="list-style-type: none"> <li>Tablet PC 入力パネル</li> </ul>	Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 8、Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。この機能が割り当てられたデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Journal</li> </ul>	Windows Journal を含む Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。Windows Journal が開きます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>Tablet PC の設定に従う</li> </ul>	Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 8、Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。 以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の「Tablet PC 設定」と「ペンと入力デバイス」コントロールパネル</li> </ul>
スキップ	切り替えスイッチの機能切り替え時にスキップさせる（順番を飛ばす）機能を設定することができます。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、CAD プログラムのように、ペンタブレットのサポートが組み込まれたソフトウェアで働きます。 また、高度な統合ソフトウェアによっては、ファンクションキーとタッチホイールを直接コントロールすることができるようになります。
無効	デバイスボタンの設定を無効にします。
標準設定	デバイスボタンを標準設定に戻します。



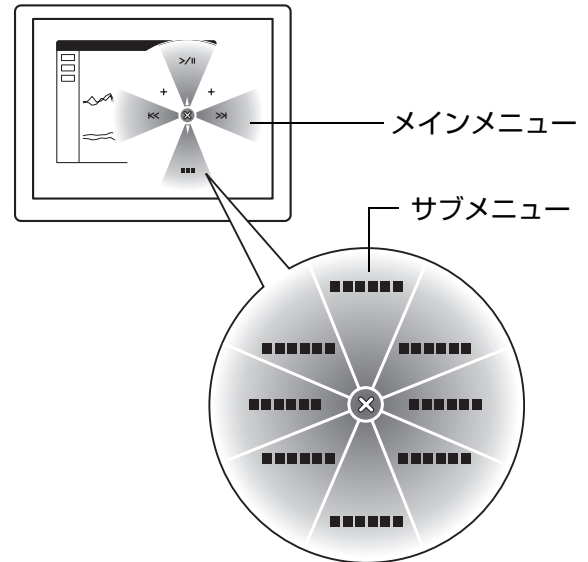
## ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円形のポップアップメニューです。ラジアルメニューをカスタマイズすると、編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

- デバイスボタンまたはファンクションキーに「ラジアルメニュー」を設定します。デバイスボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心として表示されます。
- 機能を割り当てられたジェスチャーを使ってラジアルメニューを開くこともできます。
- 階層構造を持つラジアルメニューが円形で表示されます。メニューの各レベルを構成する8つの項目に含まれる、様々な機能やオプションが選択可能です。
- クリックでどれかのオプションを選択します。オプションによっては、選択するとサブメニューが表示され、利用可能なオプションをさらに選ぶことができます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。

機能を選択せずに終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。再びメニューを表示するときは、「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押します。

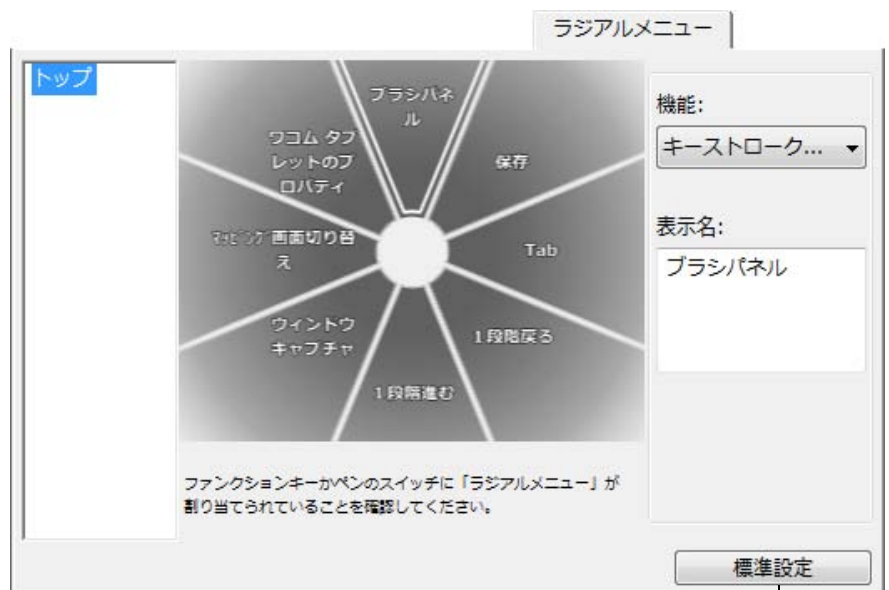
- ラジアルメニューを開いたままで選択するには、ラジアルメニューを呼び出すデバイスボタンを押し続けます。



コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. 扇形（メニュー項目）を1つ選択します。
2. 任意の「機能」を割り当てます。必要に応じて「表示名」を変更してください。
3. メニューまたはサブメニューを選択し、さらに細かくカスタマイズします。

- ヒント:
- 「機能」メニューで「サブメニュー」を選択し、任意のサブメニューを設定、追加できます。
  - 「Enter (Return)」キーを押すと、複数行の「LABEL」テキストを追加できます。



現在、表示されているメニューを標準設定に戻します。

## マッピング画面切り替えを使う

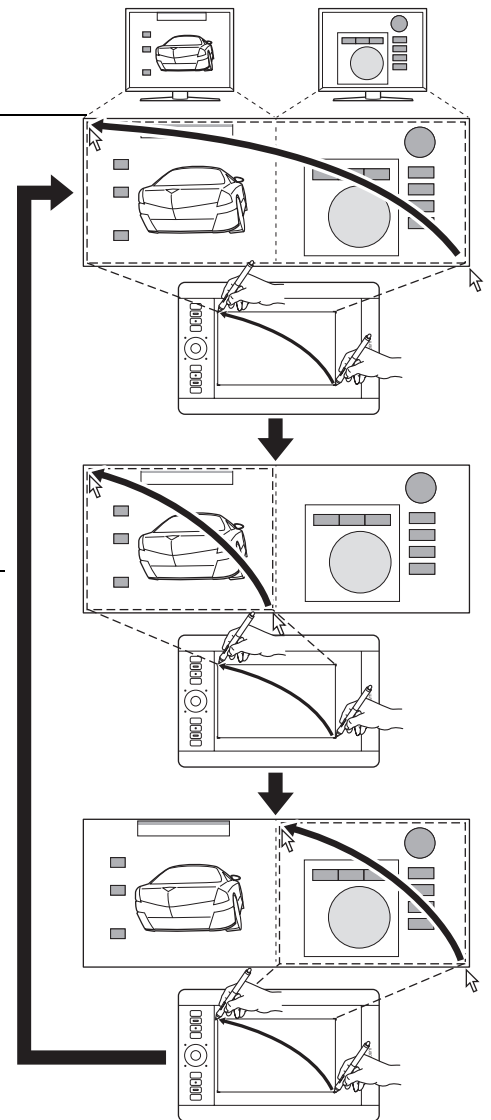
マルチディスプレイ環境では、「マッピング画面切り替え」を利用することができます。この機能を使うと、ペンタブレット1台をディスプレイ全体に、あるいはディスプレイ1つずつに割り当てを切り替えながら作業を行うことができます。[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。

Intuos Pro がマルチディスプレイ環境に接続されている場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を設定します。

ファンクションキーまたはサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」に設定すると、デバイスボタンを押すことで、基本マッピング（「[マッピング](#)」タブの設定）とその他のディスプレイマッピングを順番に切り替えることができます。

1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Intuos Pro の操作エリアに割り当てられています。

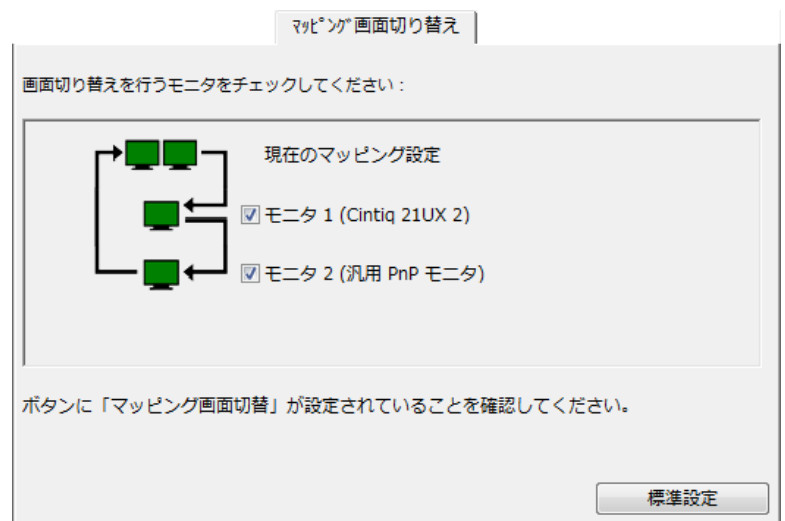
2. 「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンを押すと、ペンタブレットのマッピングを次のディスプレイに順番に切り替えていきます。



マルチディスプレイ環境の場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されま

す。  
標準設定では、すべてのディスプレイが順番に選択されます。ディスプレイのチェックをはずすと、そのディスプレイは切り替えの対象ではなくなります。

- 基本マッピングは、「[マッピング](#)」タブで定義されたペンタブレットとディスプレイのマッピングです。標準設定では、特定のディスプレイを主要ディスプレイとして定義していない限り、これにはすべてのディスプレイが含まれます。
- 次のディスプレイに切り替えると、有効な操作エリアが該当するディスプレイに割り当てられます（ペンモードの場合のみ）。
- 選択された最後のディスプレイまで切り替えた後、もう1度切り替えると、基本マッピング（現在のマッピング設定）に戻ります。



**重要：**「マッピング画面切り替え」で特定のアプリケーションに対する設定を使用している場合、「アプリケーション」リスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンがあるかを確認してください。特定のアプリケーションに対する設定を作成する前に、ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」を割り当てることをお勧めします。

次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

- 筆圧をサポートするグラフィックソフトを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき（ファーストユーザスイッチ）
- システムをスリープモードにしたとき
- 「[マッピング](#)」または「マッピング画面切り替え」の設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「[ペン⇄マウスモード](#)」機能を使用したとき
- [ラジアルメニュー](#)から「ペンモード」または「マウスモード」を選択したとき

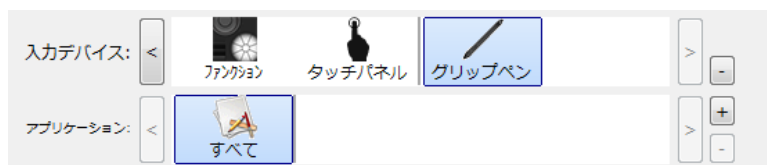
ヒント：「ディスプレイ全体」オプションを含めずに、ディスプレイ間を切り替えるには、「マッピング画面切り替え」タブ上の1番目のディスプレイを無効にします。次に、「マッピング」タブで1番目のディスプレイに対して現在の「表示エリア」を設定します。



## 特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストに対象のソフトウェアを追加し、追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定を行います。

- ソフトウェアごとの設定を行わず入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストに「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、選択中の入力デバイスで操作するソフトウェアすべてを表示します。下の例では、入力デバイス「グリップペン」に「特定のソフトウェアに対する設定」が追加されていません。「グリップペン」で操作されるすべてのソフトウェア内では、「グリップペン」の設定は共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が追加されると、またはドライバから自動的に標準設定が読み込まれると、「すべて」アイコンは「その他すべて」アイコンに変わり、追加されたソフトウェアのアイコンが表示されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。

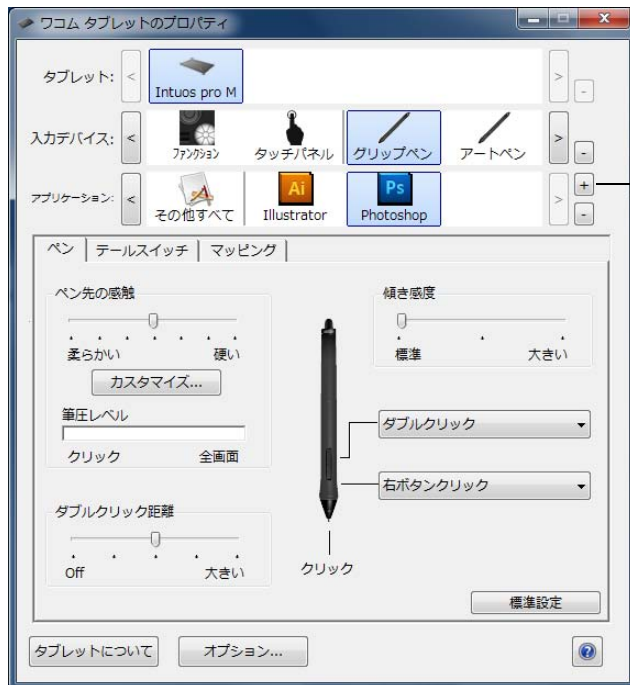
ヒント：画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキー、タッチホイール、あるいはペンの設定を確認するには、ファンクションキーの1つに「設定内容」を設定してそのキーを押すと確認できます。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)

## 特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成する「タブレット」と「入力デバイス」を選択します。



「アプリケーション」リストの[+]ボタンをクリックすると、下の「アプリケーションを登録」画面が表示されます



「アプリケーションを登録」画面では、次の2つのソフトウェアの選択方法があります。

- ・ 「開いているアプリケーション」ボックスから、設定を作成するソフトウェアを選択します。
- ・ 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、各入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の設定が適用されます。

## 特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、設定を削除したい入力デバイスを選択します。
2. 「アプリケーション」リストから、リストから削除するソフトウェアを選択します。
3. 「アプリケーション」リストで、[-]ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。ソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：1つの入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから入力デバイスを削除します。次に入力デバイスをペンタブレットの上に戻すと、入力デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。この方法は、カスタマイズされた「ファンクション」および「タッチパネル」の設定を削除する場合は利用できません。

## 複数の入力デバイスでの作業

コントロールパネルは、ペンタブレットおよび**入力デバイス**のカスタマイズと管理に役立つように設計されています。コントロールパネルを開く際に使用した入力デバイスが自動的に選択され、その入力デバイスに適したタブが表示されます。

「入力デバイス」リストには、ペンタブレットの「ファンクション」アイコンとペンタブレット上で使用された入力デバイスが表示されます。

タッチ入力に対応したペンタブレットの場合は「タッチパネル」アイコンが利用できます。**タッチオプションを設定する**をご覧ください。

特定のアプリケーション（ソフトウェア）に対する設定が追加されていない場合、「すべて」アイコンが表示され、入力デバイスに対する設定はすべてのソフトウェアに適用されます。



選択した入力デバイスを削除します。リストに項目が1つしかない場合、ボタンは働きません。「ファンクション」および「タッチパネル」アイコンは削除できません。

「入力デバイス」リストに入力デバイスを追加するには、Intuos Pro 上で追加する入力デバイスを使用してください。

- 「入力デバイス」リストに追加された入力デバイスを選択する場合、その入力デバイスの適切な設定がタブに表示されます。変更された設定は、入力デバイスに適用されます。

同じ入力デバイスが過去に追加されていた場合、新しい入力デバイスは古い入力デバイスの設定を引き継ぎます。設定は、新規に追加された入力デバイスに合わせてカスタマイズすることができます。

選択した入力デバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの[ - ] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから、「削除」をクリックして、選択を確認します。選択した入力デバイスは、その入力デバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。削除した入力デバイスをペンタブレットの上に戻すと、「入力デバイス」リストに再び追加されます。

## タブレットモードの変更

Intuos Pro は、ほとんどのソフトウェアで最適なパフォーマンスでお使いいただけます。ただし、手書き認識ソフトの中には、一般的なソフトウェアよりも高いデータ転送速度を必要とするものがありますので、お使いの環境によってはコンピュータのパフォーマンスが低下する場合があります。

ご使用の手書き認識ソフトウェアの動作が十分ではない場合、ペンタブレットのモードを標準から認識モードに変更してください。

コントロールパネルの「タブレット」リストから、ペンタブレットのアイコンをダブルクリックします。「タブレットモード」設定は、すべての入力デバイスとソフトウェアに適用されます。

必要に応じて、タブレットアイコンの名前を変更することもできます。

グラフィックソフトウェアでは「標準モード」をおすすめします。

「文字認識」では、データ転送速度が最大になります。一部の手書き認識ソフトはこの設定でお使いください。



## オプション設定

「オプション」ダイアログボックスを表示するには、コントロールパネルで「オプション」をクリックします。

「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合：ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。タブレット PC 以外の標準設定です。

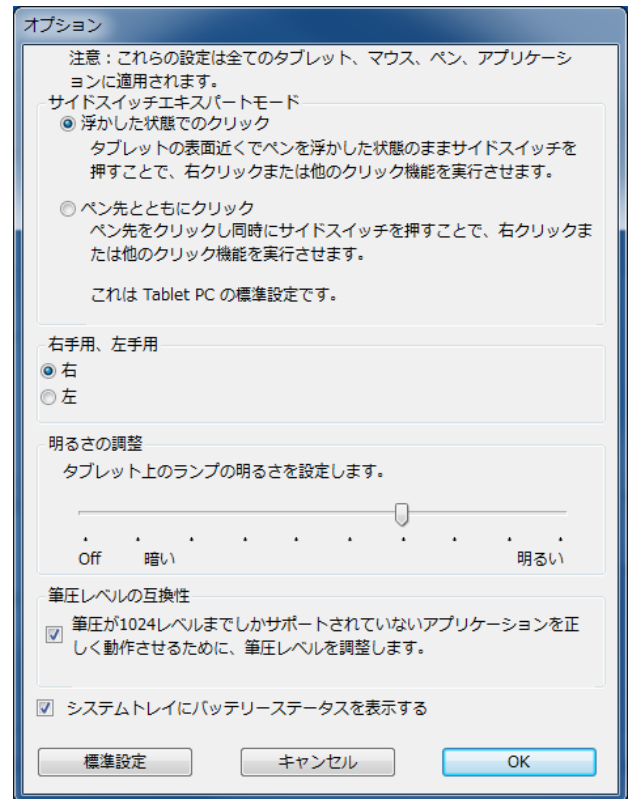


浮かした状態でのクリック

- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合：正確なクリック位置を決めることが可能です。クリック操作を行うには、サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチします。



ペン先とともにクリック



- 「右手用、左手用」では、マウスを右手、または左手で使えるように、ボタン機能の配列を切り替えます。
- 「明るさの調整」で、タッチホイールのすべてのステータスランプおよび操作エリアマーカー（ランプ）の明るさを設定します。
- サポートする筆圧レベルが 1024 レベルまでのグラフィックソフトを使用する場合は、「筆圧レベルの互換性」チェックボックスを必ず選択してください。これを選択しないでソフトウェアを使用すると、ペンの感度が高くなり過ぎてしまいます。
- 「システムトレイにバッテリーステータスを表示する」をチェックすると、システムのタスクトレイ (Windows) またはメニューバー (Mac) に充電ステータスアイコンが表示されます。



## タブレット設定を管理する

1 人または複数のユーザ用のタブレット設定を管理するときは、ワコムタブレット設定ユーティリティを利用します。

**Windows 8 の場合：**Windows 8 のスタート画面から「ワコム タブレット設定ファイルユーティリティ」タイルを選択するか、画面の右端からチャームを表示して、「検索」を選択し、検索ボックスに「タブレット設定ファイルユーティリティ」を入力して、アプリで表示される「ワコム タブレット設定ユーティリティ」をクリックします。

**Windows 7 および Windows Vista の場合：**

1. 「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。
2. 「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。  
タブレット設定ファイルは、どの Windows システムでも以下のように設定してください。
  1. 開いているソフトウェアをすべて閉じます。
  2. タブレット設定ファイルを以下のように設定します。
    - 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。
    - タブレット設定のバックアップを作成するときは、「ログインユーザーの設定ファイル」の「バックアップ」をクリックします。
    - 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」をクリックします。
    - 現在のユーザのタブレット設定を削除するときは、「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックします。
    - 複数のユーザのタブレット設定を削除するときは、「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックします。

補足：すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。

現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。

**Mac の場合：**メインメニューの「アプリケーション」を開きます。続いて「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。
- 設定ファイルのバックアップを作成するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」を選択します。次に「復元」をクリックします。
- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に「削除」をクリックします。



## Intuos Pro をワイヤレスで使う

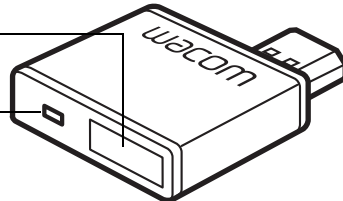
Intuos Pro は、ワイヤレスキットを使うことにより、ワイヤレスでのご使用が可能になります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

### ワイヤレスキットの構成

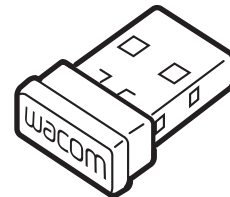
ワイヤレスキットの構成は以下の通りです：

電源ボタン

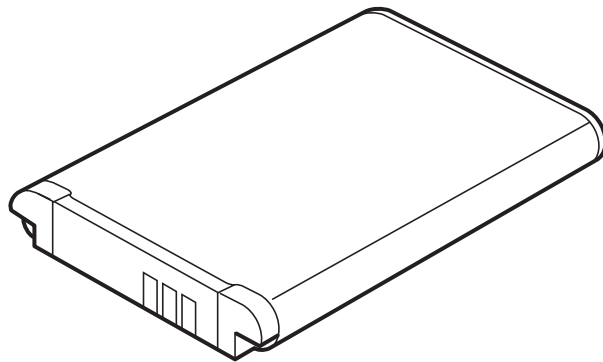
充電ステータスランプ



ワイヤレスモジュール  
Intuos Pro ペンタブレット本体  
に接続します。



ワイヤレスレシーバー  
コンピュータのUSBポートに接続します。  
使用しないときはペンタブレット内部に収  
納できます。[ワイヤレスレシーバーの保管](#)  
をご覧ください。



充電式リチウムイオン電池  
ペンタブレット内部にセットします。

#### ⚠ 警告

製品安全上のご注意については「製品に関する重  
要なお知らせ」をご覧ください。

タブレットドライバ CD-ROM に同梱されていま  
す。

補足：ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、セットになった状態で販売されます。紛失したり破損した場合には、新しいワイヤレスキットをご購入ください。電池は単体でご購入いただけます。

ワイヤレスキットの接続のしかたは、[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。

[ワイヤレスキットの取り付け](#)

[電池および電源管理](#)

[電池寿命について](#)

[電池を交換する](#)

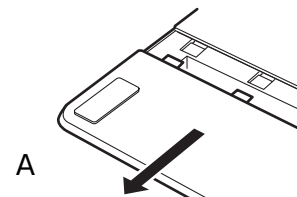
[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)

[ワイヤレスレシーバーの保管](#)

## ワイヤレスキットの取り付け

ワイヤレス通信のために、以下の作業を行います。

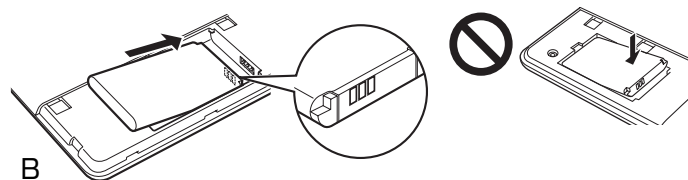
1. ペンタブレットから USB 接続ケーブルを取り外します。
2. ペンタブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーを取り外します。カバーをスライドさせペンタブレットから取り外します (図 A)。medium サイズのペンタブレット (PTH-651) および large サイズのペンタブレット (PTH-851) をお使いの場合は、2箇所のカバーを取り外します。1箇所はワイヤレスモジュール用、もう1箇所は充電式リチウムイオン電池用です。small サイズのペンタブレット (PTH-451) では、このカバーは2つに分かれていません。



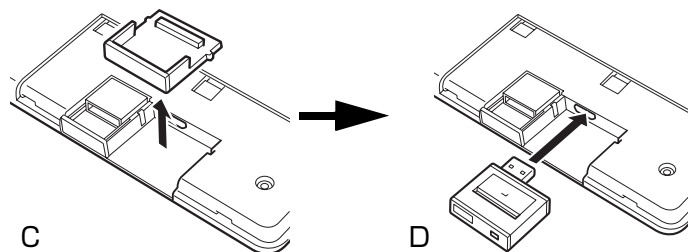
3. ワイヤレスキットを取り付けます。

- 充電式リチウムイオン電池をセットします。タブレット側と電池側の端子部を合わせ (図 B)、矢印の方向にゆっくりと押し込みます。電池を交換するもご覧ください。

補足：電池をセットするときは、まっすぐ下向きに押し込まないでください。まず端子部と端子部の位置を合わせてゆっくりと挿入し、次にもう一方の端を入れます。

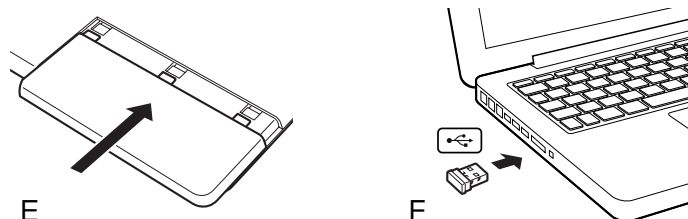


- ワイヤレスモジュールを取り付けます。保護カバーを取り外し (図 C)、ワイヤレスモジュールをスライドさせて挿入し、コネクタ部分が完全に収まるまで確実に押し込んでください (図 D)。



**重要：**保護カバーは大切に保管しておいてください。ワイヤレスモジュールを取り外した場合、保護カバーが必要になります。[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)をご覧ください。

- ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます (図 E)。
- お使いのコンピュータの有効な USB ポートに、ワイヤレスレシーバーを接続します (図 F)。



4. コンピュータを起動します。
5. 引き続き、ワイヤレス通信を確立してください。

[ワイヤレス通信の確立](#)

[ワイヤレス通信を最適化する](#)



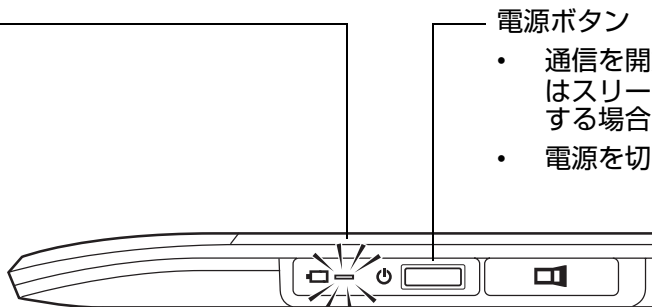
## ワイヤレス通信の確立

ペンタブレットとコンピュータ間をワイヤレス通信で接続します。

1. 電池を完全に充電します。[電池の充電](#)をご覧ください。ランプが緑色に点灯し電池がフル充電になっていれば、USB 接続ケーブルを取り外しワイヤレスでお使いいただけます。

### 充電ステータスランプ

- USB 接続ケーブルが接続され、電池が充電中のときはオレンジ色です。
- USB 接続ケーブルが接続され、電池がフル充電状態のときは緑色です。
- ワイヤレスでペンタブレットを使用しているときは消灯しています。



### 電源ボタン

- 通信を開始するときあるいはスリープモードから復帰する場合に押します。
- 電源を切るときに押します。

2. 起動しているコンピュータにレシーバーが挿してある状態で、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。数秒以内にワイヤレス通信が確立されます。確立されない場合は、ワイヤレスモジュールの電源が切れます。その場合は[ワイヤレス通信の問題](#)をご覧ください。
3. ペンタブレット上でペンを使用して画面のポインタを動かし、接続を確認してください。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)もご覧ください。

Intuos Pro はワイヤレス接続または USB 接続のどちらかで操作できますが、同時に両方を使うことはできません。

- ワイヤレス接続は、Intuos Pro がワイヤレス操作用に正しく設定され、USB 接続ケーブルが本体から外されている場合に有効となります。USB 接続ケーブルが本体から外されると、ペンタブレットは自動で検索を開始し数秒以内にワイヤレスレシーバーに接続します。レシーバーが見つからない場合はスリープモードになります。
- USB 接続ケーブルを接続すると、自動的にワイヤレス接続から USB 接続に切り替わり充電が開始されます。

**補足：** [ペアリング](#)を行う必要はありません。ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、工場出荷時にペアリングされており、ペアでひとつのセットとして機能します。

Intuos Pro はお使いのコンピュータから約 10 メートルの範囲でワイヤレス操作できます。Intuos Pro をワイヤレスレシーバーの近くに置く必要はありません。ワイヤレスモジュールは無線周波数の技術を使用しています。この無線波は机のような金属以外の物体を通過することができます。

お使いのコンピュータに接続された他のデバイス（オーディオなど）、あるいは電波の通り道やその近くに置かれた金属類は、ペンタブレットの動作不良や通信障害を引き起こす可能性があります。もし、通信がうまくいかない場合は、[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

コンピュータを起動した場合にはオペレーティングシステムの起動が完了するまで待ち、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを入れて（最初にスイッチが入っていない場合）ワイヤレス操作を始めてください。

**重要：** ワイヤレスデバイスの使用は、国によって規制が設けられています。ワイヤレス操作に設定した Intuos Pro を持って旅行する場合には、渡航先の国で製品に適用される制限について、必ず関係規制当局にご確認ください。







### ⚠ 警告

ワイヤレス信号を使用する製品は、民間飛行機の機器を妨害することがあり、規則により、飛行機内すべてのワイヤレスデバイスの電源を切るよう要求されます。機内に持ち込む場合、ワイヤレスの電源スイッチをオフにするかモジュールを取り外し、ワイヤレス信号がオフの状態にしてください。特に離発着、飛行時には決して電源スイッチをオンにしないでください。

### ⚠ 警告

極めて高い信頼性が要求される場所や、ワイヤレスタブレットがその他の電子機器の妨害または誤作動の原因になる恐れのある、施設管理システムやその他の環境では Intuos Pro をワイヤレスで絶対にお使いにならないでください。使用が禁止されている場合には、ワイヤレスの電源スイッチをオフにするかモジュールを取り外し（取り外し前に信号が切れていることを確認）、その他の電子機器を妨害または誤作動の原因にならないようにしてください。弊社は直接的または間接的損害に対しての責任を一切負わないものとします。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

### ⚠ 警告

電子機器の使用が禁止されている場所では、ペンタブレットを使用しないでください。航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所では、ペンタブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。コンピュータから USB 接続ケーブルを抜いて、ペンタブレットのワイヤレスモジュールの電源を切ってください。

## ワイヤレス通信を最適化する

ポインタがペンタブレット上のペンの動きに遅れたり意図しない動きをする場合や、グラフィックソフトで描画している時に極端にまっすぐな線が表示される場合には、ワイヤレス機能が最適な速度でペンタブレットからのデータを送信できていない可能性があります。これは、その他の電波発生源からの妨害、電波経路にある障害物、またコンピュータから離れすぎているなど複数の理由が考えられます。

以下の対策を行ってワイヤレス通信を向上させ、ペンタブレットの操作性を最適化してください。

- Intuos Proとコンピュータに取り付けたワイヤレスレシーバーの電波経路上にある金属類を取り除く。
- ペンタブレットをコンピュータに近づける。
- 携帯電話などの 2.4GHz 無線周波数で動作するすべてのデバイスの電源を切るか、コンピュータから遠ざける。





## 電池および電源管理

このセクションでは、Intuos Pro をワイヤレスで使用した場合の充電式リチウムイオン電池および電源管理の機能に関する重要な情報を記載しています。必ず以下の項目をご覧ください。

[電池の充電](#)

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)

[省電力機能](#)

### 電池の充電

Intuos Pro をワイヤレス接続でご使用になる前に、充電式リチウムイオン電池をフル充電にしておきます。

Intuos Pro とコンピュータの USB ポートとの間に USB 接続ケーブルを接続します。

- USB 接続ケーブルが接続されている場合、フル充電になるまで自動で充電されます。
- 充電時間は、通常使用の場合は約 4 時間、電池残量 0 の状態からフル充電の場合は約 6 時間かかります。実際の充電時間は、電池の残量および充電中のペンタブレットの使用状況により変わります。
- 充電中は USB 接続になるため、ワイヤレスでの操作はできません。

**重要：**USB ハブではなく必ずコンピュータ本体の USB ポートと接続し充電してください。USB ハブによっては充電するための電流を供給できない場合があります、その場合はタブレット操作に影響を及ぼす場合があります。

USB 接続ケーブルでペンタブレットとコンピュータを接続していない場合に、USB AC アダプタを使用して充電することができます。ただし、この方法で急速充電を行うことはできません。

### ⚠ 警告

安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

**ヒント：**充電するときは、電池およびワイヤレスモジュールの両方がペンタブレットに取り付けられていることを確認してください。

充電式リチウムイオン電池の充電状態をチェックするには、コントロールパネルを開いて「ファンクション」をクリックし、「ワイヤレス」タブを選択します。

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。

[省電力機能](#)と[電池寿命について](#)もご覧ください。



## 電池およびワイヤレス通信の状態

ワイヤレス接続でのペンタブレットの状態表示は以下の通りです。

- ステータスランプ（ペンタブレット）：

点滅	ワイヤレス通信の確立中。
点灯	ワイヤレス接続が有効。
消灯	スリープモード、またはワイヤレス接続が無効。

- 充電ステータスランプ（ワイヤレスモジュール）：

オレンジ色	USB 接続ケーブルから充電中。
緑色	USB 接続ケーブルから充電完了。（フル充電）
消灯	USB 接続で、サスペンドまたは通信中。 USB 接続ケーブルが外れている。充電が行われていない。 USB 接続ケーブルが外れている。ワイヤレスで動作中。

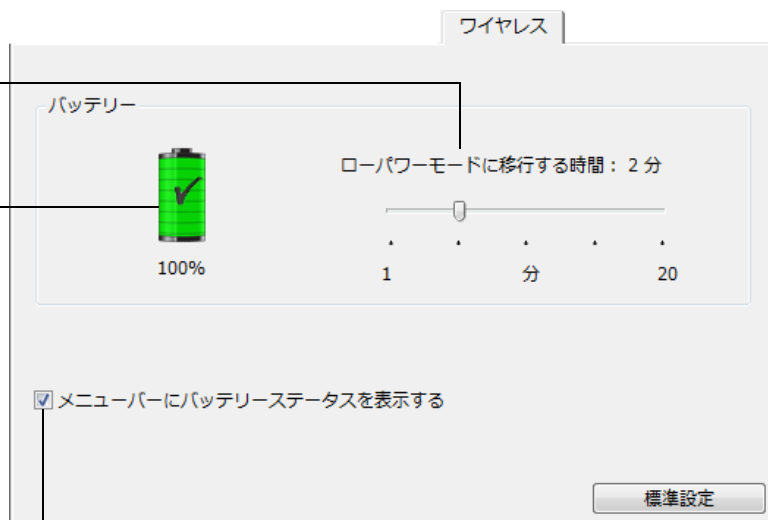
- システムのタスクトレイ（Windows）またはメニューバー（Mac）に充電ステータスアイコンが表示されます。ポインタをアイコン上に置くと、アイコンの情報が表示されます。
- ワイヤレス操作に設定されているときには、コントロールパネルから電池残量、およびワイヤレス操作のオプション情報を確認することができます。コントロールパネルを開いて「ファンクション」をクリックし、「ワイヤレス」タブを選択します。

スライダーを調節し、節電モードに切り替わる条件を決定します。

充電ステータスアイコンはペンタブレットが使用中であること、およびその充電残量を表示します。

- 電源プラグの表示は、ペンタブレットが USB 接続の外部電源で動作中、および充電中であることを示します。
- チェックマークの表示はフル充電の状態であることを示します。
- アラートマークの表示は電池残量が 20% 未満であることを示します。

お使いのペンタブレットやオペレーティングシステムの状態によって、表示は異なる場合があります。[省電力機能](#)もご覧ください。



充電ステータスアイコンの表示を有効または無効にします。



## 省電力機能

Intuos Pro には、ワイヤレス操作に設定されているとき、電池の電力を節約しつつ性能を保つよう設計された多くの節電機能が搭載されています。

### 省電力モード

入力のない状態が 2 分以上続くと、ペンタブレットは省電力モードに入ります。時間の設定はコントロールパネルで変更できます。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。

操作を再開する場合は、お使いの機種により、ペンタブレットに触れる、ファンクションキーを押す、ペンを検出範囲に持ってくるのいずれかを行います。

### スリープモード

以下の場合にペンタブレットはスリープモードになります：

- ワイヤレス通信のない状態が 4 秒以上続いた場合。コンピュータの電源を切るかペンタブレットを通信範囲の外に移動させる、あるいはワイヤレスレシーバーを取り外した場合です。この状態から操作を再開するには、コンピュータの電源を入れ、ペンタブレットをコンピュータとの通信範囲内に置き、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。[ペンタブレットのテスト](#)をご覧ください。
- 入力のない状態が 30 分以上続いた場合。
- 電池残量が極端に少ない場合。直ちに充電を行います。

操作を再開するときは、タッチホイールの切り替えボタン、またはワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。お使いの機種に応じて、指またはペンでペンタブレット操作面に触れ、ペンタブレットに沿って動かすと、ペンタブレットの機能が復帰します。

**重要：**ペンタブレットを使用しない場合は、ワイヤレスモジュールの電源を切って、充電式リチウムイオン電池の電力を節約してください。電源を切るときは、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。電源を入れたままにすると、次回ペンタブレットを使用する前にペンタブレットの電池を充電しなければならない場合がありますのでご注意ください。[電池寿命について](#)をご覧ください。





## 電池寿命について

Intuos Pro をワイヤレスで使用する場合、すべての機種でフル充電で約 12 時間の連続使用が可能です。ワコムでは、予備の電池のご購入をお勧めしております。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

- 電池はご使用につれ劣化し蓄電能力が低下します。ご使用状況にかかわらず、充電式リチウムイオン電池の標準寿命は約 2 年です。
- 充電式リチウムイオン電池の寿命と性能は、電池の使用と再充電を繰り返し行っても改善はされません。
- 画面に電池残量が少ないという警告が表示されたときは、速やかに充電を行ってください。[省電力機能](#)もご覧ください。

- 電池電圧が最低安全レベルよりも低下した場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。

電池の残量が少ない状態で、電池が長期間ペンタブレット内にあると、電池から少量の電流が流れ、電池が放電しやすくなります（過放電）。この場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。長期間ペンタブレットを使用しない場合は、ペンタブレットから電池を取り出して保管してください。

過放電された電池は、充電ができなくなります。

- ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているときは、ペンタブレットにはいつでも電池から電流が流れています。充電レベルが極度に低下すると、ペンタブレットは電池残量を減らさないために、スリープモードに入ります。この場合は充電を行ってください。

スリープモード中でもペンタブレットは少量の電力を消費し続けます。数日間ペンタブレットを使用しない場合は、電池を充電してからワイヤレスモジュールの電源を切ってください。

- 長期間（1 カ月以上）保管する場合、電池をある程度充電し（約 40%の充電を推奨）、涼しい場所に保管してください。ペンタブレットと電池の両方を保管する場合電池を取り外す必要はありません。

補足：充電式リチウムイオン電池を使用せず 6ヶ月間以上経過すると、再充電できなくなることがありますのでご注意ください。

電池が劣化して十分な充電量を維持できなくなるか充電できなくなった場合には、新しい電池を購入する必要があります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

### 警告

電池の安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。



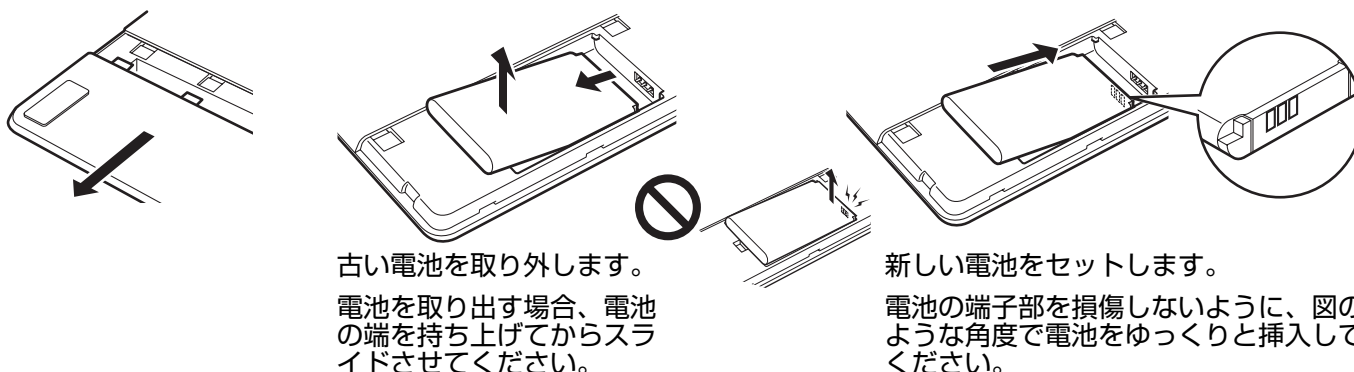
## 電池を交換する

ペンタブレットの電池が寿命で充電や蓄電ができなくなった場合、電池を交換する必要があります。ワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池以外はご使用になれませんのでご注意ください。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

**重要：必ずお使いのワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池をご使用ください。**

電池を交換する：

1. ペンタブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーをスライドさせて取り外します。medium サイズのペンタブレット (PTH-651) および large サイズのペンタブレット (PTH-851) をお使いの場合は2箇所のカバーを取り外します。1箇所はワイヤレスモジュール用、もう1箇所は充電式リチウムイオン電池用です。small サイズのペンタブレット (PTH-451) ではワイヤレスキットカバーは2つに分かれていません。
2. 下の図を参考に、使用済み電池（古い電池）を取り外します。
3. 新しい充電式リチウムイオン電池をセットします。下の図を参考に、ペンタブレット側と電池側の端子部を合わせ、電池収納部にゆっくりと押し込みます。
4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。
5. USB 接続ケーブルを接続し、電池を充電します。[電池の充電](#)をご覧ください。



**重要：電池を交換するときに、硬い物の上などに電池を落とさないようにご注意ください。電池内部が破損するおそれがあります。また落とした電池は、破損したように見えない場合でも新しい電池と交換してください。万一ペンタブレット内部でショートや液漏れが発生した場合、ペンタブレットが故障する恐れがあります。**

### ⚠ 警告

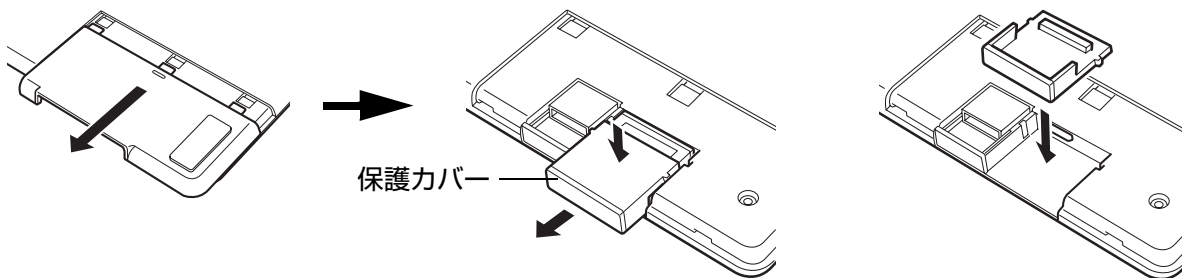
安全上のご注意については、ワイヤレスキットの「製品に関する重要なお知らせ」または充電式リチウムイオン電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

多くの地域で自主的または強制的リサイクルプログラムを実施しています。ご使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って、さらに「製品に関する重要なお知らせ」に記載されているリチウムイオン電池に関する安全上のご注意をお読みの上、適切にリサイクルしてください。電池はお子様の手の届かない所に保管してください。使用済みの電池は直ちにリサイクルしてください。

## ワイヤレスモジュールを取り外す

ワイヤレスモジュールを取り外す場合は：

1. ペンタブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーをスライドさせて取り外します。  
medium サイズのペンタブレット (PTH-651) および large サイズのペンタブレット (PTH-851) をお使いの場合は2箇所のカバーを取り外します。1箇所はワイヤレスモジュール用、もう1箇所は充電式リチウムイオン電池用です。  
small サイズのペンタブレット (PTH-451) ではワイヤレスキットカバーは2つに分かれていません。
2. 付属の保護カバー、または金属製ではない工具を使ってワイヤレスモジュールを浮かせて取り外します。ワイヤレスキットに付属する保護カバーを使用することもできます。保護カバーをワイヤレスモジュールの溝に合うようにかがせ、保護カバーをフックのように引っ掛けてワイヤレスモジュールを浮かせてスライドさせ、タブレットから取り外します。
3. 保護カバーをワイヤレスモジュール収納部に押し込みます。



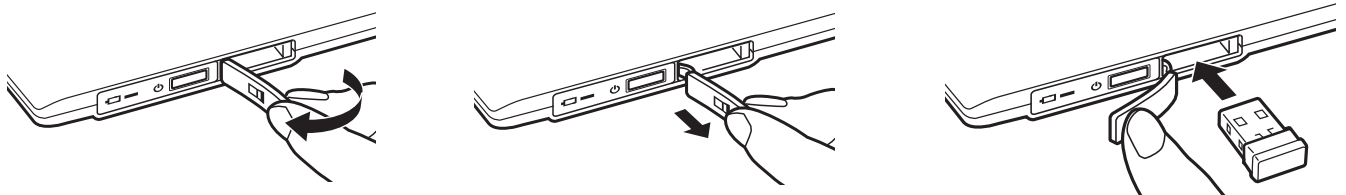
4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。
5. 取り外したワイヤレスモジュールはワイヤレスレシーバーとペアで大切に保管してください。

## ワイヤレスレシーバーの保管

ワイヤレスレシーバーは、持ち運びのしやすさを考えて設計されています。お使いのコンピュータのUSBポートに取り付ければ、取り付けたままいつでも使用することができます。旅行先に Intuos Pro を携帯する場合も同じです。

移動時などにはワイヤレスレシーバーを取り外し、ペンタブレット本体に収納することもできます。収納のしかたは以下の通りです：

1. 指先や金属製ではない工具を使用して、ワイヤレスレシーバー収納部を開きます。
2. 収納部のフタを開き、内部の収納部カバーを少し引き出します。
3. レシーバーを収納部カバー内に挿入します。
4. 収納部カバーをスライドさせて元の位置に戻し、フタを閉じます。



ペンタブレットからワイヤレスレシーバーを取り出すには、収納部を開きます。内部の収納部カバーを少し引き出し、レシーバーを取り出します。取り出したら収納部カバーを押し込んで元の位置に戻し、フタを閉じます。



## ワイヤレス通信のテスト

ペンタブレットのステータスランプは、ペンタブレットが正常に接続されお使いのコンピュータがペンタブレットを USB デバイスの 1 つとして認識している場合に、常に点灯します。ワイヤレス接続で問題が発生した場合は、以下のチェックを行ってください。

1. 最初に、一般的な[トラブルシューティング](#)で問題を確認します。
2. ワイヤレスモジュールのスイッチがオンになっていることを確認します。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)を確認します。
3. ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられていることを確認します。[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。
4. [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。[電池の充電](#)をご覧ください。
5. ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし再度オンにします。
6. ペンタブレットをお使いのコンピュータに近づけます。ペンタブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。
7. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスはペンタブレットについての現在の状態を表示します。「ワイヤレスモード」の入力内容をチェックし、ワイヤレスのステータスが「オン」になっていることを確認します。作業終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

これらのテストに不合格の場合はハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。







## トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を調べてください。
2. [トラブルシューティング情報](#)をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってみてください。
3. ワコムのホームページのFAQ（よくある質問）を参照してください。  
<http://tablet.wacom.co.jp/customer-care/>
4. Intuos Pro と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるかチェックしてください。更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報については、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。ワコムは新製品との互換性を維持するために、ドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
5. ペンタブレットと入力デバイスを診断します。[ペンタブレットのテスト](#)と[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。
6. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポートに関する情報については、[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

[ペンタブレットのテスト](#)

[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)

[トラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)





## ペンタブレットのテスト

1. コンピュータの電源を入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. **USB 接続をチェックします。**ペンタブレットが正しく接続され、USB デバイスとして認識されるとペンタブレットのステータスランプが点灯します。そうならない場合は、以下を参照してください。
  - ペンタブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの利用可能な USB ポートにしっかり接続されていることを確認します。
  - ペンタブレットの USB 接続ケーブルに損傷がないかチェックします。
  - 別の USB ポートにペンタブレットを接続するか、または別のコンピュータの USB ポートに接続してみてください。
3. **ワイヤレス操作**については、ペンタブレットの通信をチェックします。ペンタブレットが適切に接続されていて、USB デバイスとして認識されると、ペンタブレットのステータスランプが点灯します。点灯しない場合には以下のことを行ってください：
  - ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているかを確認します。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。
  - ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられているかを確認します。[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。
  - [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。[電池の充電](#)をご覧ください。
  - ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。
  - ペンタブレットをお使いのコンピュータに近づけます。ペンタブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。

### 4. ペンをチェックします。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、ペンは正常に動作しません（ポインタの移動とクリック以外の動作ができません）。タブレットドライバの再インストールを行ってください。

- ペンタブレットの操作エリアの上でペンを移動してみてください。画面上のポインタが、ディスプレイ画面で対応する方向へ移動すれば正常です。
- ペンタブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
- 次に、ペン先に筆圧をかけずに、ペンタブレットの面からおおよそ 10 mm 以内のところを保留にしたまま、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度明るく点灯すれば正常です。
- ペンを回転させ、テールスイッチ（消しゴム）をペンタブレットに押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。

[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[ペンのテスト](#)をご覧ください。





#### 5. タッチをチェックします。

タブレット面で指を動かして、画面のポインタが動くことを確認します。次にタップして項目を選択します。ペンタブレットの操作エリアにタッチして、ステータスランプが明るくなることを確認します。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。ジェスチャーが認識されない場合は、タブレットドライバをもう一度インストールしてください。

#### 6. ファンクションキーをチェックします。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[ファンクションキーのテスト](#)をご覧ください。

#### 7. タッチホイールをチェックします。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[タッチホイールのテスト](#)をご覧ください。

#### 8. マウスなど、他の入力デバイスをチェックしてください。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。

これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

テスト前にペンタブレットや入力デバイスをカスタム設定で使っていた場合は、テストが終わったらコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。

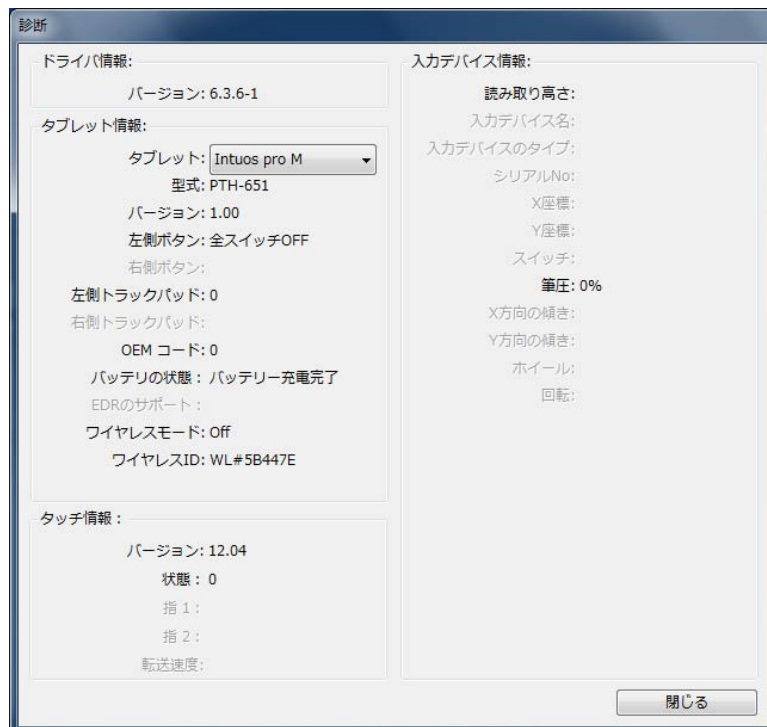


## ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト

入力デバイスやペンタブレットの機能が思うように動作しない場合、初めに割り当てた機能をチェックするか、あるいは標準設定の状態に戻してみてください。タッチ入力可能な機種でタッチ関連の問題が発生した場合も、上記の方法をお試しください。

入力デバイスを標準設定の状態に戻す最も速い方法は、コントロールパネルの「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除することです。削除したい入力デバイスのアイコンを選択し、「入力デバイス」リストの「-」ボタンをクリックします。リストからアイコンが削除された後、入力デバイスを再びタブレットの操作面に置きます。入力デバイスは標準設定の状態ですべてリストに再び追加されます。

- コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスにはペンタブレット、入力デバイス、そしてタッチ入力可能なペンタブレットの現在の状態が提示されます。



- 複数のペンタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で現在テスト中のペンタブレットを選択してください。
- ペンタブレットと入力デバイスをテストする際には、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：デバイスボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動…」に設定されている場合、デバイスボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にデバイスボタンの機能を変更してください。

[ファンクションキーのテスト](#)

[タッチホイールのテスト](#)

[ペンのテスト](#)



## ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストして「タブレット情報」欄を観察してください。  
「タブレット情報」欄で、必ず現在テストしているペンタブレットを選択してください。
2. ファンクションキーを1つずつ押してテストします。キーを押すと「左側ボタン」カテゴリーのとなり番号が表示されます。
3. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

## タッチホイールのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたままタッチホイールのテストをして、「タブレット情報」欄を観察してください。「タブレット情報」欄で、必ず現在テストしているタブレットを選択してください。
2. タッチホイールの周りを一周するように指を滑らせます。タッチホイールに触れて、指先を滑らせるように動かすと、現在の指の位置が「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」に数値で示されます。
3. タッチホイールの切り替えボタンを押して、カスタマイズ可能な4つの機能を切り替えます。設定を切り替えるたびに、対応するステータスランプが点灯します。「診断」ダイアログボックス内にも、ボタンの機能が「左側ボタン」に表示されます。
4. 補足：タッチホイール機能に「スキップ」が設定された場合、対応するステータスランプは点灯しません。
5. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

**重要：**ソフトウェアによっては、ファンクションキーまたはタッチホイールの設定が無効になったり、制限される場合があります。タッチホイールのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。





## ペンのテスト

- 「診断」ダイアログボックスを開いて「入力デバイス情報」欄を見ながら、入力デバイスを、タブレットの操作エリアから 10 mm を超えないように浮かせます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No」の値が表示されます。複数のペンタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、入力デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。
- ペンタブレットの操作エリアでペンを移動させると、「X 座標」と「Y 座標」のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
- ペンのデバイスボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの上で押すと、ペンタブレットのステータスランプが明るく点灯します。
  - タブレットエリアをペン先でクリックします。「入力デバイス情報」の「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% からおよそ 100% まで変化します。
  - 次に、ペンタブレットにペン先を押し当てずにサイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。この操作はペンの両方のサイドスイッチに対して行います。
 

ペン	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ（下側） = 2
	サイドスイッチ（上側） = 3
	テールスイッチ（消しゴム） = 1
<hr/>	
エアブラシ	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ = 2
	テールスイッチ（消しゴム） = 1
- ペンタブレットにペンのテールスイッチ（消しゴム）を押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります。「筆圧」は 0% から 100% まで変わります。
- オプション品のエアブラシの場合は、ホイールを奥に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、「ホイール」はおよそ 0 まで減少します。ホイールを手前に回します。完全に手前まで回すと、「ホイール」はおよそ 1000 まで増加します。
- X 軸方向の傾きをテストします。「X 方向の傾き」は、ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X 方向の傾き」は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
- Y 軸方向の傾きをテストします。「Y 方向の傾き」は、ペンを垂直位置からペンタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。ペンを垂直位置からペンタブレットの向こう側へ傾けると、「Y 方向の傾き」は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
- オプション品のアートペンの場合、ペン先をタブレット操作面に置き、軸を中心にして緩やかにペンを回転させ回転機能をテストします。ペンを回転させると「回転」の値が変化します。
- 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。





## トラブルシューティング情報

ペンタブレットまたは入力デバイスで問題が生じた場合、次の表をご覧ください。問題が説明され、解決策が提示されていれば、その方法をお試しください。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページ (<http://tablet.wacom.co.jp/customer-care/>) をご覧ください。

### [一般の問題](#)

### [ペンの問題](#)

### [タッチの問題](#)

### [ワイヤレス通信の問題](#)

### [Windows の問題](#)

### [Mac の問題](#)

## 一般の問題

ペンタブレットのステータスランプが点灯しない。	<p>ペンタブレットの USB 接続ケーブルが、ペンタブレットと利用可能な USB ポートに正しく接続されていることを確認します。</p> <p>別の USB ポート、または USB 接続ケーブルと接続してみてください。</p> <p>ワイヤレス接続でお使いの場合は、<a href="#">ワイヤレス通信の問題</a>をご覧ください。</p>
コンピュータが節電モードにならない。	<p>Intuos Pro の入力デバイスを使用しない場合、タブレット面上に置かないでください。置いたままにすると、ペンタブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。</p> <p>補足：金属その他の導電性の物体の中には、ペンタブレットがデータを送る際の障害となるものがあるため、使わないときはタブレット面に何も置かないのが一番です。</p>
ペンタブレット使用中に、画面のポインタが揺れたり、「ジャンプ」をする。	<p>まれに、ペンタブレットはコンピュータ画面あるいは AM ラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、ペンタブレットをディスプレイから 30 cm 以上離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。</p>
ペンタブレットは「ファンクションキーを右側」（または「ファンクションキーを左側」）用に設定されているが、ログイン画面ではペンタブレットが上下逆に動作する。	<p>タブレットドライバをインストールし直し、ペンタブレットの標準設定の向きを変更します。<a href="#">タブレットドライバをインストールする</a>をご覧ください。</p>
ソフトウェアによって、ファンクションキーやタッチホイールがコントロールパネルの設定と異なる動作をする。	<p>ソフトウェアによっては、ファンクションキーやタッチホイールの設定が無効になったり、制限されることがあります。</p> <p><a href="#">タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う</a>をご覧ください。</p> <p>特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、使用しているソフトウェアに対する設定を更新したかどうか確認して下さい。</p>





## ペンの問題

ペンで画面のポインタの移動ができない、または正しく動かない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない可能性があります。タブレットドライバが読み込まれていないときの動作としては以下のようになります。

- ポインタの移動以外のペン入力できません。
- ペン入力とタッチ入力の両方に対応した機種の場合、基本的なタッチ以外の操作やジェスチャーは認識されません。

このような場合は、[タブレットドライバのアンインストール](#)を行い、コンピュータを再起動後、タブレットドライバを再度インストールしてください。

ペンで筆圧感度を使った線を引く、塗るなどの動作ができない。

ご使用のソフトウェアが筆圧機能に対応しているかどうかを、ソフトウェアの取扱説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を利用可能にするための設定が必要な場合があります。また、お使いのソフトウェアが筆圧に対応していることを確認してください。

クリックが利かない。

「ペン先の感触」を柔らかく設定してください（[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください）。

ペン先でダブルクリックが利かない。

ペンタブレットの操作エリアの同じ場所を2回、速くたたいていることを確認してください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることを推奨しています。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。次に「ダブルクリック距離」を大きくするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定します。

ファンクションキーの1つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。

Windowsの場合：1回のクリックでプログラムが起動するように設定します。[クリック](#)をご覧ください。

ペンがあらゆるものを選択する。選択が解除できない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方に動かします。あるいは、「カスタマイズ…」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。また、芯の抜き差しも行って下さい。

以上で効果がない場合は、[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。または[テクニカルサポート](#)へご連絡ください。

ペン先（芯）がすり減っている可能性があります。[芯を交換する](#)をご覧ください。

消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。あるいは、「カスタマイズ…」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。以上で効果がない場合は、[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。







ペンまたはインクのストロークの開始が遅れる。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。動作しない場合、「ダブルクリック距離」のスライダを「off」へ動かして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。

Ink 機能をオフにしてください。

クリック、描画、あるいは文字を書くときに、ペンを強く押さなければならない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。また、「カスタマイズ…」を選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。

ペン先が利かない。

互換性のあるワコム製のペン（付属品など）、または Intuos Pro に対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。他のペンは、ペンタブレットで正しく動作しません。

- コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
- ペン先を押したとき、ペンタブレットのステータスランプが明るく点灯することを確認してください。明るくならない場合、ペンタブレット本体に問題がある可能性があります（[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください）。

ペンやその他の入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。

使用中の入力デバイスとソフトウェアに対して、設定変更を行ったかを確認してください。[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定と複数の入力デバイスでの作業](#)をご覧ください。

サイドスイッチが利かない。

互換性のあるワコム製のペン（付属品など）、または Intuos Pro に対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。他のペンは、ペンタブレットで正しく機能しない場合があります。

ペンタブレットの操作エリアから 10 mm 以内にペン先があるときに、サイドスイッチを押してください。ペン先でペンタブレットを押さずにこれを行ってください。

コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のソフトウェアと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。

「サイドスイッチエキスパートモード」を確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をペンタブレット表面にタッチする必要があります（[オプション設定](#)をご覧ください）。

サイドスイッチを押すと、ペンタブレットのステータスランプが明るく点灯することを確認してください。点灯しない場合、ペンタブレット本体に問題がある可能性があります（[ペンタブレットのテスト](#)をご覧ください）。

画面のポインタが「ジャンプ」して引き戻される。

使用していないときや、他のポインティングデバイスを使用しているときには、ペンタブレットの上に入力デバイスを置かないでください。入力デバイスをペンタブレットの上に置いたまますると、ほかの入力デバイスを使ったときに、画面のポインタの移動ができなくなる場合があります。





ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントソフトで、描いた線とポインタの位置が合わない。

コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペンモード」が選択され、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して「表示エリア」が「全画面」に設定されていることを確認してください。効果がない場合は、「標準設定」ボタンをクリックしてください。それでも効果がない場合は、ペンタブレットの設定ファイルを削除してください（詳しくは [Windows の問題](#) または [Mac の問題](#) をご覧ください）。

ペンが機能するかどうかを確認します。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。

ペンでタッチホイールを操作できない。

タッチホイールは指で操作するように設計されており、ペンで操作することはできません。

マルチディスプレイ環境で、一つのディスプレイでしかペンが機能しない。

「[マッピング画面切り替え](#)」を割り当てたファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、Intuos Pro のペンで操作するディスプレイを切り替えてください。

「マッピング」タブの「表示エリア」が「全画面」に設定されていることを確認してください。

マウスモードでペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇄マウスモード…」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切り替えます。

## タッチの問題

タッチができない。

「タッチ機能 on/off 切り替え」に設定されているファンクションキーを押してタッチを有効にします。

あるいは、コントロールパネルを開いて「タッチ」アイコンをクリックしてから「ジェスチャーの標準設定」、「ジェスチャーの個別設定」、または「タッチオプション」タブを選択します。「タッチ入力を有効にする」オプションが選択されていることを確認してください。

タッチが一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、もっと複雑な動作やジェスチャーは機能しない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合には、基本的なタッチ操作のみ認識されます。その他のタッチ操作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。

複数の指でタッチした場合に、正しく認識されない。

指同士が近づきすぎている場合、ペンタブレットは別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてください。

Adobe Photoshop 使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

Adobe Photoshop で作業するときに、ジェスチャーのスクロールとパンが正しく動作しない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。





ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。

回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。90度単位で滑らかに回転する場合もあれば、全く回転しない場合もあります。これは各ソフトウェアの仕様であり、ペンタブレットの故障によるものではありません。

このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに25 mm以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

## ワイヤレス通信の問題

コンピュータに使用可能なUSBポートがない。

現在使用していない周辺機器があれば、USBポートから取り外してください。付属のUSB接続ケーブルで、ペンタブレットをコンピュータ本体のUSBポートに接続します。

ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押すと、ランプが約4秒間点灯した後に電源が切れる。

ワイヤレス通信が確立していない場合、約4秒後にワイヤレスモジュールの電源が切れます。

- ワイヤレスレシーバーがコンピュータの有効なUSBポートに正しく接続されているかを確認してください。
- ペンタブレットをお使いのコンピュータに近づけ、ペンタブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。

再度電源ボタンを押して、ワイヤレス接続を有効にします。

ワイヤレスモジュールの電源を入れると、ランプは正常に機能していることを示すが、画面のポインタが動かない。

お使いのペンタブレットがタッチ機能に対応している場合は、タッチ機能がオフになっていないことを確認してください。

ペンタブレットの使い方が誤っていないか確認してください。[ペンを使う](#)を再度ご覧ください。

ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。

電池残量が少ない場合は[電池の充電](#)を行ってください。

ワイヤレス通信は確立しているがペンタブレットが正しく動作しない。

タブレットドライバが正しくインストールされているか確認してください。

また、[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

USB接続ケーブルを外すとペンタブレットが動作しなくなる。

ワイヤレスモジュールとレシーバーが正しく取り付けられ、ワイヤレスモジュールの電源が入っていることを確認してください。

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認してください。

- ペンタブレットのワイヤレスキットカバーを開き、充電式リチウムイオン電池およびワイヤレスモジュールが正しく取り付けられているか確認してください。
- 電池に液漏れや破損がないか確認してください。
- 電池を一晩充電してから再度試してください。問題が解消されなければ、電池の寿命、または破損の可能性があります。その場合は、新しい電池を購入してください。電池の購入については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。
- ワイヤレスレシーバーとワイヤレスモジュールが購入時の組み合わせと異なる場合は、ペンタブレットは動作しません。購入時の組み合わせに戻してください。





ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押しても、ワイヤレスランプが点灯しない。

再度電源ボタンを押し、以下を確認してください。

1. ワイヤレスレシーバーがコンピュータ本体の有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。USB ハブに接続されている場合は、コンピュータ本体の USB ポートに接続してください。
2. ワイヤレスモジュールがペンタブレットに正しく接続されているか確認し、電源ボタンを押してワイヤレス通信を確立してください。
3. 以上を行ってもランプが点灯しない場合は、ペンタブレットとコンピュータを USB 接続ケーブルを接続してください。

ワイヤレスモジュールの充電ステータスランプを確認します。オレンジ色の場合は、電池が充電中です。緑色の場合は、電池がフル充電状態です。点灯しない場合は、電池の寿命、または破損の可能性があるので、新しい電池と交換してください。

4. ペンタブレットとワイヤレスモジュールのステータスランプが両方とも点灯しない場合には、ワコムテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

一部のソフトウェアでポイントまたはペンストロークが遅れたり、ポイントが飛び回ったりする。

[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

コンピュータがスリープモードになると常に充電が停止するように見える。

コンピュータがスリープモードになると充電はされません。充電中にスリープモードに入らないように、お使いのシステムの省電力機能を設定する必要があります。

## Windows の問題

ペンタブレットの設定ファイルが壊れている可能性がある。または、設定ファイルを標準設定の状態に戻したい。

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用して、再設定を行います。開いているソフトウェアをすべて閉じ、Windows の「スタート」ボタンをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ」をクリックし、画面の指示に従って設定します。
- 次にタブレット設定ファイルユーティリティを使用して、以下の手順でペンタブレットの設定を削除します：

シングルユーザの場合：「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックし、現在のユーザ設定を削除します。

マルチユーザの場合：「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」ボタンをクリックし、マルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。

以前の設定ファイルのバックアップがある場合は、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」ボタンをクリックするとペンタブレットの設定を素早く復元できます。





## Mac の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはペンタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

起動時にペンタブレットが検出されませんでした。

ワイヤレス通信を行っている場合：

- [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、ワイヤレス通信が正常に行われていることを確認してください。
- 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択して、「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB ペンタブレットの機種がリストされています。ペンタブレットの機種がリストにない場合、ワイヤレス接続を確認してください。

付属の USB 接続ケーブルで接続されている場合：

- USB 接続ケーブルがコンピュータ本体の有効な USB ポートにしっかり接続され、ペンタブレットのステータスランプが点灯していることを確認してください。
- 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択し「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB ペンタブレットの機種がリストされています。ペンタブレットの機種がリストにない場合、USB タブレットのケーブル接続を確認するかペンタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。

これで解決しない場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。

それでも解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。





ペンタブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

ワコムタブレットユーティリティを使用して、お使いの環境設定を調べます。開いているソフトウェアをすべて閉じ、メインメニューの「アプリケーション」を開きます。続いて「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。ワコムタブレットユーティリティでは、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ」をクリックし、設定指示に従います。
- 次に、下記のとおり、タブレット設定を削除します。
  - シングルユーザの場合 ユーティリティが起動したら、「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべての設定ファイルが作成されます。
  - 複数ユーザの場合 ユーティリティが起動したら、「すべてのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべての設定ファイルが作成されます。

補足：ユーティリティの中の「復元...」をクリックして、バックアップ済みの「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」の設定ファイルを素早く復元することができます。

補足：「WacomTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「PreferencePanels」フォルダから手動で削除しないでください。





## テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合、初めにペンタブレットのクイックスタートガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。次に、このユーザーズガイドの中の[トラブルシューティング](#)をご覧ください。問題の内容が記述され、解決法が示されています。

このユーザーズガイドで解決法が見つからない場合、ユーザーサポートページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。http://tablet.wacom.co.jp/customer-care/

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードすることができます。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

問題が解決せず、ペンタブレットが適切に動作していないと思われる場合、ワコムのサポートセンターに連絡してください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- ペンタブレットのシリアル番号とモデル名。ペンタブレットの裏面をご覧ください。
- ドライバのバージョン。タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。
- コンピュータの製造元と型式、および OS のバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したときに使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したときに起こったことにどう対処したか
- どのように問題を解決しようとしたか

FAX にて修理をご依頼になる場合は、[お問い合わせ／修理依頼票](#)をコピーし、必要事項をご記入の上、お問い合わせ／修理依頼票に記載の FAX 番号までお送りください。





## ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用できる場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download/>

**重要：**インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールすると、電子マニュアルがシステムから削除されます。また、すべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります（標準設定で「タブレットの向き」をカスタマイズしていた場合も、右利き用に変わります）。

バージョンアップをするときは、古いドライバに新しいドライバを上書き（更新インストール）することをおすすめします。

また、旧製品のドライバがインストールされている場合は、そのタブレットドライバを削除した後コンピュータを再起動し、新しいドライバをインストールしてください。

## お手入れとメンテナンス

ペンとペンタブレットは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりはペンタブレットやペンに付いて、ペンタブレットの表面を傷付けたり、故障や劣化の原因となります。定期的にお手入れすることで、ペンタブレットやペンを長期間ご利用いただけます。

ペンタブレットとペンは清潔な涼しい場所に保管し、極端な温度変化を避けてください。室温はペンタブレットの使用にも保管にも最適です。

ペンタブレットとペンを分解しないでください。製品を分解すると、保証が無効になります。

**重要：**ペンタブレットやペンに液体がかからないように注意してください。とくにディスプレイ、ファンクションキー、ペンのサイドスイッチ、およびペン芯を濡らさないように注意してください。壊れやすい電子部品が内蔵されているため、濡れると故障することがあります。

ペン芯は磨耗しますので、適宜交換し、ペンタブレット表面に傷がつかないようにしてください。[芯を交換する](#)をご覧ください。

水または薄い石鹼水で湿らせた柔らかい布で定期的に拭いてください。定期的にお手入れをしていただくことでペンタブレットとペンを長期間ご利用いただけます。それ以外の固形物、液体、溶剤などは、ペンタブレットやペンのお手入れに使わないでください。

ペンタブレットの表面を拭くときは、静電気防止布または軽く湿らせた布をお使いください。力を入れず、表面を濡らさないように拭いてください。薄い石鹼水以外の洗剤、シンナーあるいはベンジンのような揮発性の液体は製品を傷つける可能性がありますので、お手入れには使わないでください。この場合の傷も、保証の対象外となります。





## 付録

ここでは、ペンタブレットのタブレットドライバのアンインストール方法、ペンタブレットで他のソフトウェアや機能を利用する方法を説明します。

[芯を交換する](#)

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[複数ペンタブレットの設置](#)

[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)

[上級者向けの設定を組み込む](#)

[エアブラシとアートペンを使う](#)

[マウスの使用](#)

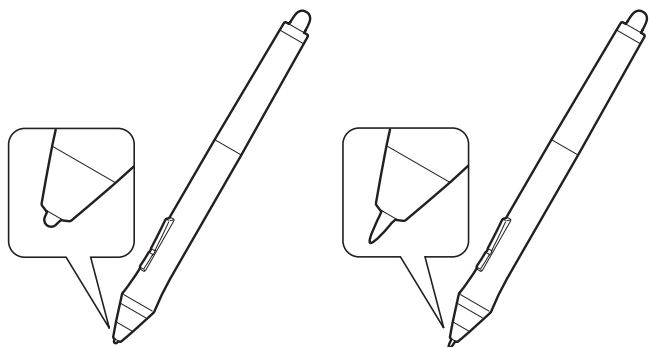
[製品情報](#)

[オプション品の注文](#)

### 芯を交換する

タブレットを保護し、最適な操作性を保つために、定期的にペン先（芯）を交換してください。

**重要：**芯の外観が下図のようになる前に、新しい芯と交換してください。

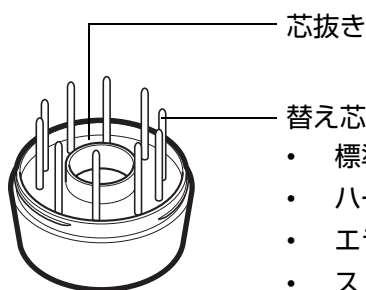
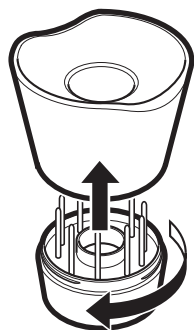


芯（ペン先）は、通常の使用で磨耗します。

筆圧をかけすぎると磨耗が早まります。

ペン先が短くなったり、平らになった場合には、芯を交換してください。

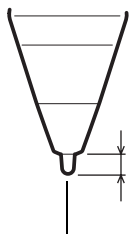
1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出します。



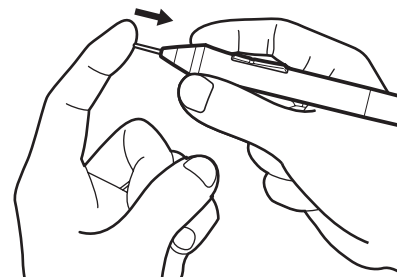
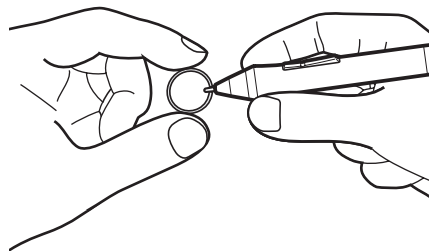
- 標準芯 5 本（黒色）
- ハードフェルト芯 3 本（グレー）
- エラストマー芯 1 本（中心が白色、外縁が黒色）
- ストローク芯 1 本（白色、バネ付き）

2. 芯抜き、ピンセット、毛抜き、ラジオペンチなどをお使いください。ペンから真っ直ぐ引き抜きます。

3. 新しい芯の先を、ペンの軸に真っ直ぐに差し込みます。芯が止まるまでしっかり差し込んでください。



1 mm 以下「×」



補足：ストローク芯にはバネが組み込まれているため、独特の手応えが加わります。ストローク芯は、標準の芯と同じ方法で取り付けることができます。

### ⚠ 警告

小さなお子様がペンや芯などを口の中に入れてはいけないようにご注意ください。芯やサイドスイッチなどが抜けて飲み込んだり、またペンが故障する恐れがあります。

重要：ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか机の上に寝かせてください。ペン先がテールスイッチに接触するような入れ物に入れて、保管しないでください。ペン先やテールスイッチを押した状態でペンを収納すると、ペンが故障する場合があります。

## タブレットドライバのアンインストール

タブレットドライバをアンインストールすると、ペンタブレットの機能性はすべて失われます。

標準設定の状態ではペンタブレットの機能性を回復するには、タブレットドライバを再インストールしてください。

Windows 8 の場合：

1. Windows 8 のデスクトップ画面の左下隅で右クリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選びます。または、画面の右端からスワイプして「検索」を選択し、検索ボックスに「コントロールパネル」を入力して、アプリで表示される「コントロールパネル」をクリックしてください。
2. 「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

Windows 7 および Windows Vista の場合：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選びます。
2. 「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

補足：アンインストールを完了させるためにコンピュータの再起動を求められることがあります。

Mac の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。続いて「タブレットドライバ：削除」をクリックし、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。

最新のタブレットドライバのダウンロード（インターネットから入手できる場合）については、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

## 複数ペンタブレットの設置

お使いのシステムに検出されたペンタブレットは、コントロールパネルの「タブレット」リストにアイコンとして表示されます。

入力デバイスとソフトウェアをカスタマイズするペンタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートされているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続されているペンタブレットの設定を、表示または変更することができます。



ペンタブレットを追加する場合は、追加するタブレットをコンピュータに接続してください。システムが自動的にペンタブレットを認識して初期化し、コントロールパネルにタブレットアイコンを表示します。

**重要：**複数のペンタブレットを Windows システムに追加する場合、ソフトウェアによっては追加されたペンタブレットでテールスイッチ（消しゴム）が機能しない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたペンタブレットでは、正しく機能します。

ドライバから複数あるペンタブレットのうちの1つを削除するには：削除するペンタブレットを選択します。「タブレット」リストのとなりにある「-」ボタンをクリックします。

- コントロールパネルの「タブレット」リストからペンタブレットを削除するには、ペンタブレットとコンピュータが接続されている必要があります。
- ペンタブレットをドライバに再度追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。



## タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ファンクションキーまたはタッチホイールを直接コントロールするように設計されているものがあります。このようなソフトウェアを使用した場合、ファンクションキーまたはタッチホイールがワコムペンタブレットのコントロールパネルで設定する機能とは違った動作をすることがあります。

このようなソフトウェアでは、ファンクションキーまたはタッチホイールがコントロールパネルで設定されている機能とは異なる動きをする場合があります。

- ファンクションキーの1つがソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、「アプリケーションの設定に従う」が表示されるか、または新しい機能名が付けられます。ソフトウェアによっては、ファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能が影響を受けます。ソフトウェアがタッチホイール機能の一部を書き換えると、残りの機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアが実行中または画面の最前面にある場合のみ、このソフトウェアはファンクションキーあるいはタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了する（または作業するために別のソフトウェアのウィンドウ枠を選択する）と、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキー、タッチホイールまたはペンの機能の設定を確認するには、ファンクションキーを「[設定内容](#)」に設定し実行します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、ワコム製品の使用にあたり、この機能を選択しないかまたは無効にできます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアで提供される取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成するための情報については、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

**重要：**特定のソフトウェアに対する設定を、タブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。





## 上級者向けの設定を組み込む

上級者向けの設定を組み込む機能によって、XML (Extensible Markup Language) ファイルの指定どおりにカスタマイズされたコントロールパネルの設定を組み込むことができます。

- ソフトウェア開発者によっては、そのソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう、特別に設計されたカスタム設定ファイルを作成している場合があります。
- お使いの製品で利用できるカスタム設定ファイルについては、ワコムのホームページをご覧ください。
- XML ファイルによっては、複数のソフトウェアに対応してカスタマイズされた設定を含む場合があります。これらの設定はファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニュー、あるいはペンのサイドスイッチおよび消しゴム機能に適用できる場合があります。

上級者向けの設定を組み込むには：

1. 特定のソフトウェアでの使用に対応した XML ファイルを選択します。選択したファイルをダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示を確認し、指示に従って操作します。
  - 複数のソフトウェアに対応する設定が組み込まれると、それらのソフトウェアの以前の設定は書き換えられる場合があります。
  - 上級者向けの設定を組み込む前に、コントロールパネルの既存設定をバックアップしておくことをおすすめします。
  - 設定の組み込みを途中で中止したり、再開することができます。
3. 設定の組み込みを選択した場合、XML ファイルで記述された設定のみが組み込まれます。対応するすべての設定は、新しい設定値で書き換えられます。それ以外のすべての既存設定は変更されません。

組み込みが完了したら、新しい設定をコントロールパネルで確認することができます。

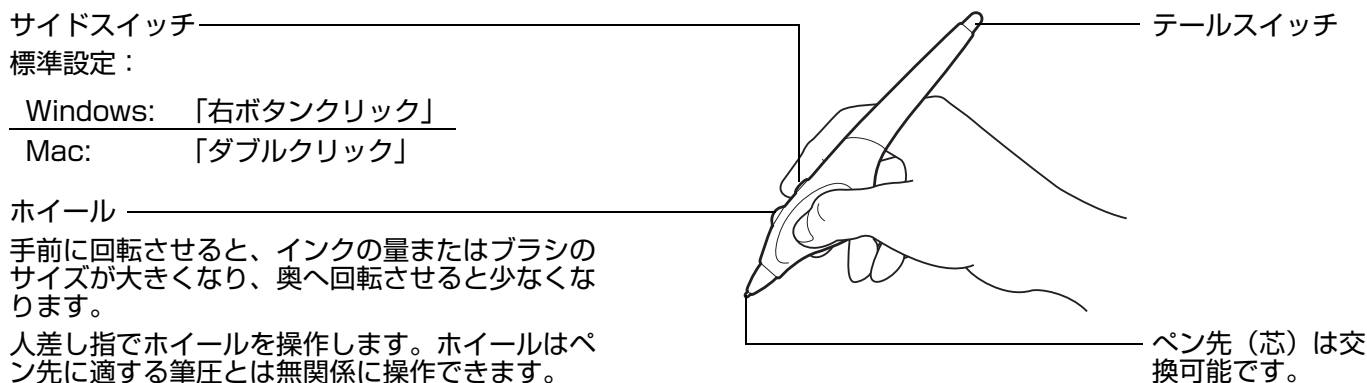


## エアブラシとアートペンを使う

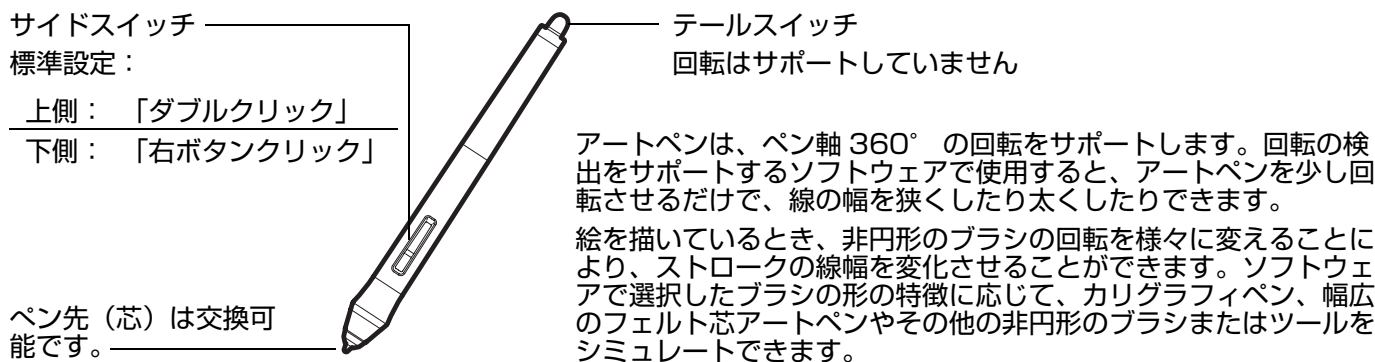
オプション品のエアブラシは、グリップペンのように使うことができ、さらに付属のホイールを使って、エアブラシの太さなどに変化を与えることができます。

エアブラシを親指と中指で持ちます。人差し指で回転させやすい位置にホイールを配置します。エアブラシを傾けて、筆圧を使用して色を塗ったり絵を描いたりするのに適した位置を探します。

ソフトウェアのサポートにより、エアブラシの写実的な描写がシミュレートできます。例えば、ペン先の筆圧でブラシのサイズをコントロールしたり、エアブラシを傾けることでスプレーパターンを長くできます。また、ホイールを回転させることでスプレーの強さを調節します。



オプション品のアートペンは、ペンに与える筆圧、傾き、回転に対応します。



**重要：**エアブラシまたはアートペンを使用していないときは、机の上に横にして置いてください。入力デバイスの感度を保持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）に接触するような入れ物に入れて保管しないでください。また、ペンタブレット上に Intuos Pro の入力デバイスを置いたままにすると、通常のマウスなどを使う場合、ポインタの移動ができない場合があります。

[ワコム](#)のホームページで、エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェアを確認できます。エアブラシとアートペンの購入方法については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。

## マウスの使用

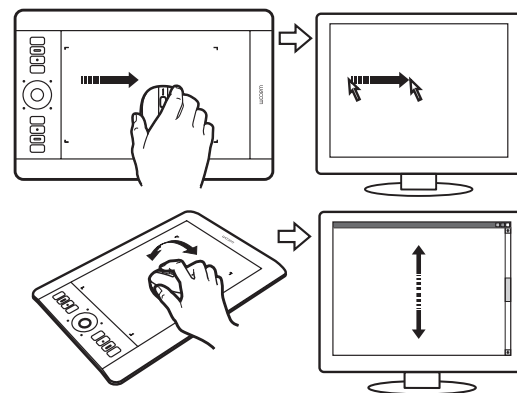
オプション品のマウスはコードレスで電池レスです。Intuos Pro ペンタブレット上で動作します。

### タッチホイール

ホイールは回転させる、および押す（追加のボタン機能）のどちらかで操作できます。

- ホイールを回転すると、ほとんどの画面やソフトウェアでスクロールが実行されます。ホイールを手前に回すと下方向に、逆に回すと上方向にスクロールされます。
- ホイールを押すと、「中ボタンクリック」が実行されます。

ヒント：ホイールマウスをサポートする Microsoft Office では、[Ctrl] キーを押しながらホイールを回転させると、ズーム操作を実行することができます。



### 右ボタン

押すと、コンテキストメニューが表示されます。

### 左ボタン

標準設定で「クリック」が設定されています。オブジェクトの選択で使用します。

### 奥と手前のボタン

インターネットブラウザの「進む」と「戻る」に相当します。

### マウスボタンの標準設定

左ボタン：	「クリック」
右ボタン：	「右ボタンクリック」
中ボタン：	「中ボタンクリック」
奥：	「進む」
手前：	「戻る」

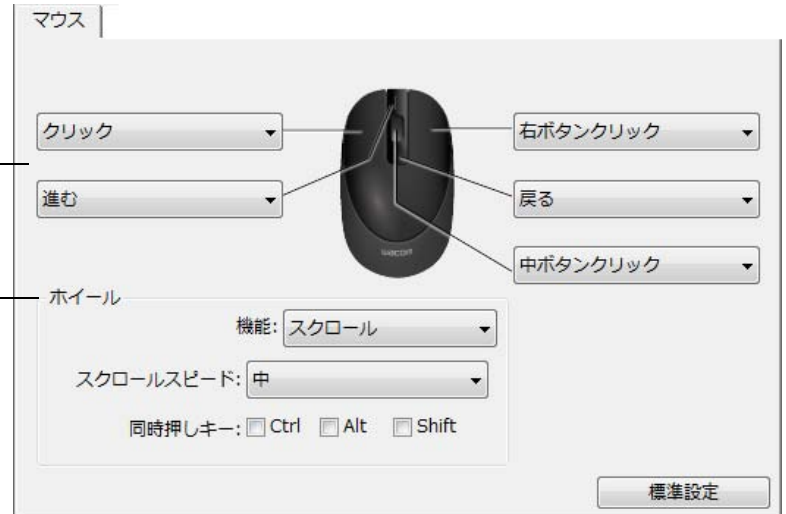
**重要：**オプションのマウスを使用しないときは、机の上に置いてください。入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使うとき、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータがスリープしなくなる場合があります。

[マウスボタンのカスタマイズ](#)もご覧ください。

## マウスボタンのカスタマイズ

マウスでコントロールパネルを開いてください。自動的に「入力デバイス」リストで「マウス」が選択されます。自動的にマウスが選択されない場合は、手動で「入力デバイス」リストから「マウス」を選択し、「マウス」タブを選択してください。

ボタンを押したときに実行する機能を選択します。



「ホイール」で、ホイールのオプションを設定します。

スクロール	標準設定。「スクロールスピード」：ホイールを 1 ノッチ（目盛り）回転させたときのスクロールの速度を選択します。 「同時押しキー」：スクロールしながら押す修飾キーを選択します。ズーム操作、または他の操作をソフトウェア内で実行する場合に使えます。 (Mac の場合：[option]、[command (アップルキー)]、[control]、[shift] キーを利用できます。)
キーストローク	「 <a href="#">キーストローク</a> 」オプションを選択して、機能をホイールに割り当てます。繰り返しの多い機能を使用する場合に役立ちます。設定したキーストロークは、ホイールの 1 ノッチ（目盛り）につき 1 つ送られます。 キーストローク動作の速度を 2 倍にするには、「キーストロークを登録」ダイアログボックスで 2 度キーストロークを入力してください。
無効	ホイール機能を無効にします。

マウスボタンは複数同時押しが可能です。たとえば、1 つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーストロークをシミュレートするよう設定した場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl]+[Alt] が実行されます。

補足：左手操作用のマウスを設定するには、必要に応じてボタン機能を再度割り当てます。コントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックして、「利き手の設定」で「左」を選択します。



入力デバイスのリストにマウスがある場合、「マッピング」タブでマウス動作の設定ができます。

「マウス操作」オプションは、マウスのみに適用されます。

- ・ 「タブレットの向きに従う」を選択すると、ペンタブレットの上部へマウスを移動させると、ポインタも画面の上へ移動します。このモードでは、ペンタブレットの操作エリアすべてがマウス操作の領域になります。
- ・ 「マウスの動きに従う」を選択すると、マウスの向きに対し上へ移動させると、ポインタも画面の上へ移動します。このモードでは、操作エリアの一部分でマウスを操作できます。これは、Intuos Pro の標準設定です。



ポインタの加速を設定します。

ポインタの速度を設定します。

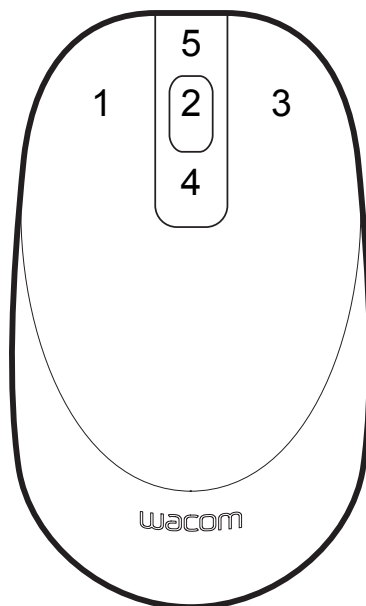
補足：画面の[ラジアルメニュー](#)を使用して、ペンモードとマウスモードを切り替えることもできます。

ペンモードとマウスモードをよく切り替える場合は、ペン、マウスまたはペンタブレットのボタンに「[ペン⇄マウスモード](#)」機能を割り当てることもできます。



## マウスのテスト

1. コントロールパネルから「診断」ダイアログボックスを開きます。[ペンタブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。
2. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、マウスをタブレットの操作エリアに置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。ペンタブレットのステータスランプが明るく点灯すれば正常です。また「スイッチ」の状態が変わります。



3. 「診断」ダイアログボックスを最初に開いた場合、「ホイール」の状態は0のはずですが、ホイールを手前に回すと、「ホイール」の状態は0から1に変われば正常です。
4. ホイールを奥へ回すと、「ホイール」の状態は-1まで変化すれば正常です。
5. 終了したら、「閉じる」をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。





## Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能

Microsoft Windows 8、Windows 7 (Starter を除く)、および Windows Vista (Home Basic を除く) は、ペン入力機能に対応しています。Intuos Pro を使用して、素早く直感的な反応をお確かめください。

- **手書きメモ帳機能**：Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書きこむことができます。手書き入力した内容を確認するには、Windows Journal の検索エンジンを使用します。
- **手書き文字認識機能**：ペンタブレットで素早く書いた手書き文字をテキストに変換する機能です。
- **ジェスチャー機能**：ペンタブレットの操作面での簡単な動作によって、カスタマイズ可能な操作を実行できます。ジェスチャー機能をカスタマイズするときは、Windows 8 または Windows 7 の「ペンとタッチ」、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選択します。
- **Office 2007 以降のデジタルインク機能**：ペンタブレットを接続し、ペンを使って手書き文字や図形などを自由に書き込むことができる機能です。デジタルインク機能は、該当する各ソフトウェアの「レビュー」タブにありますので、ご活用ください。

Windows Tablet PC 入力パネルによって、ワコムペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。

入力パネルは、以下のいずれかの方法で立ち上げます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右ボタンクリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルを無効にするには：

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」「オプション」の順に選択します。
3. 「開き方」タブを選択して、次のボックスのチェックを外します：
  - 「タブレットペン入力の場合、テキストボックスの横にアイコンを表示する」
  - 「入力パネルタブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。

詳しくは、Windows トレーニングツールおよび Tablet PC チュートリアルを含め、ご使用システムの付属文書を参照してください。「Tablet PC ペントレーニング」を起動するには、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」、「TABLET PC」、「TABLET PC ペントレーニング」の順に選択します。「スタート」メニューからトレーニングツールを起動できない場合は、Windows のヘルプを検索してください。

Windows のデジタルインク入力機能に関する追加情報は、Microsoft のホームページで検索してください。

**補足**：ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- 「ペンとタッチ」コントロールパネル、または「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。





## 製品情報

Intuos Pro に関する詳細や、Windows で様々なペン機能と [デジタルインク](#) 機能をフルに活用する方法やソフトウェアについては、ワコムのホームページ (<http://www.wacom.com>) をご覧ください。

ペンタブレットの仕様は、タブレットドライバ CD-ROM の「製品に関する重要なお知らせ」の中に含まれています。

## オプション品の注文

ペンやその他のオプション品を購入するには、ワコムのホームページをご覧ください。

<http://store.wacom.jp/>





## 用語

**エクスパンド** [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。ズームで使用。2 本の指をくっつけた状態でペンタブレットにタッチし、次にペンタブレットに触れたまま指を開きます。

**回転** [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。2 本の指を少し開いてペンタブレットにタッチし、円を描くように順方向／逆方向に回します。または 1 本の指を固定して、もう一方の指を固定した指の周囲を巡るように回します。

**傾き感度** 入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

**画面のポインタ** 表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、ボックスなど、様々な形に変わります。

**クリック圧** クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

**消しゴム対応** 消しゴム機能に対応しているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

**操作エリア** タッチまたは入力デバイスが検出されるペンタブレット上の操作領域および描画領域。[タッチセンサー](#)をご覧ください。

**修飾キー** 修飾キーには、Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Mac では「shift」、「control」、「command」、「option」キーが含まれます。サイドスイッチやファンクションキーを、修飾キーが実行されるようにカスタマイズすることができます。

**芯** ペン先で交換が可能な部分。

**スワイプ** [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。3 本、4 本または 5 本の指でペンタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

**タッチセンサー** タッチ入力を検出するための Intuos Pro の操作領域。タッチセンサーは操作エリア内にあり、ペン入力は検出しません。

**タッチ入力** ペンタブレット上で指先でコンピュータを操作する方法。[タッチによる操作](#)をご覧ください。

**タッチホイール** ペンタブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

**タップ** [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。指 1 本でペンタブレットにタッチしてから離します。

**縦横比** ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。





**ダブルクリックアシスト** ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単に  
するコントロールパネルの機能。

**ダブルクリック距離** ペン先でダブルクリックするとき、2回目のクリックですべてよい距離を画面  
のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりま  
すが、グラフィックソフトによっては、線の引き初めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線  
が現れないことがあります。

**ダブルクリック速度** ダブルクリックの1回目と2回目のクリックの間隔の設定。遅くするとペン先でダ  
ブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めに「ダブルク  
リックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

**デジタルインク** コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書き  
のコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボ  
ード入力されたテキストに変換するか、手書きのまま使用することができます。システムおよびソフト  
ウェアの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換する  
ようにもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

**特定のソフトウェアに対する設定** ソフトウェアごとに入力デバイスとペンタブレットの設定をカスタ  
マイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズ  
します。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。[特定  
のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

**ドラッグ** [タッチによる操作](#)での動作の1つ。指1本でペンタブレット面にタッチし、そのまま移動さ  
せます。

**ピクセル** 画面上の最小の測定単位。

**筆圧対応** ペン先およびテールスイッチ（消しゴム）にかかる圧力を感知します。筆圧に対応したソフト  
ウェアで、自然な感じに文字を書いたり、色を塗ったりできます。ブラシの太さなども調節できます。

**筆圧対応ソフト** 筆圧機能に対応するソフトウェア。

**パン** [タッチによる操作](#)での動作の1つ。ドラッグやスクロールで使用。1本または複数の指でペンタ  
ブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

**ピンチ** [タッチによる操作](#)での動作の1つ。ズームで使用。2本の指を少し離れた状態でペンタブレット  
にタッチし、次にペンタブレットに触れたまま2本の指をくっつけます。

**ファンクションキー** ペンタブレットに装備されたカスタマイズ可能なコントロールキー。[ファンクショ  
ンキーのカスタマイズ](#)をご覧ください。

**ファンクションキーを左側** 「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがペン  
タブレットの左側になります。

**ファンクションキーを右側** 「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがペン  
タブレットの右側になります。

**ペアリング** 2台のデバイス間に仮想ケーブルリンクを確立する方法。





**ペン入力** ペンタブレット上でペントールを使ってコンピュータを操作する方法。

**ペンモード** ペン入力によるポインタの位置決め方法。ペントールをペンタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、入力デバイスの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることができます。[マウスモード](#)もご覧ください。

**ホイール** マウスとオプション品のエアブラシのコントロールホイール。

**ポインタの加速** マウスモードのとき、ポインタの加速を調整することができます。

**ポインタの速度** マウスモードのとき、ポインタのスピードを調整することができます。

**マウスモード** ポインタの位置決めの方法。入力デバイスをペンタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対位置で、マウスの標準設定です。[ペンモード](#)もご覧ください。

**マッピング** ペンタブレット上の入力デバイスの位置と画面上のポインタの位置との関係。

**マッピング画面切り替え** マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

**読み取り高さ** ペンが検出されるペンタブレットの[操作エリア](#)からの高さ。[サイドスイッチを使う](#)もご覧ください。

**ラジアルメニュー** 円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、デバイスボタンに機能を割り当てる必要があります。

**LED** Light-Emitting Diode (発光ダイオード)。ペンタブレットの表示ランプに使用されます。

**Tablet PC 入力パネル** Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

**USB** Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグに対応し、これによりコンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの接続と取り外しが可能です。

**Windows Journal** 紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフト。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々なペン、マーカー、ハイライトツールに加えて、ペンのテールスイッチで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

**Wintab** ペンタブレットの情報を受け取る Windows ソフトによって使用されるインタフェースの基準。Intuos Pro は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアにすべて対応します。





## 索引

I			
	Intuos Pro について	6	
	Intuos Pro ペンタブレット	7	
M			
	Mac の問題 (トラブルシューティング)	77	
T			
	Tablet PC 入力パネル	91	
U			
	USB 接続ケーブル	10	
W			
	Windows の問題 (トラブルシューティング)	76	
あ			
	アートペン	86	
	アンインストール (タブレットドライバ)	82	
え			
	エアブラシ	86	
	エクスプレビュー	20	
お			
	お手入れ	80	
か			
	カスタマイズ		
	Intuos Pro	28	
	消しゴムの感触	31	
	タッチオプション	26	
	タッチホイール	34	
	ダブルクリック距離	30	
	ファンクションキー	33	
	ペン		
	傾き感度	32	
	サイドスイッチ	32	
	ペン入力	29	
	ペン先の感触	30	
	ボタン機能	39	
	ラジアルメニュー	46	
	傾きを使って描画する	17	
き			
	機能 (ボタン)	39	
く			
	クリック	17	
け			
	消しゴムで消す	17	
	消しゴムの感触 (カスタマイズ)	31	
	こ		
	コントロールパネル		
	概要	22	
	開く	22	
	さ		
	作業環境を整える	15	
	サポートセンター	79	
	し		
	ジェスチャー	24	
	充電式リチウムイオン電池		
	電池寿命	61	
	電池を交換する	62	
	取り付け	55	
	芯を交換する	81	
	せ		
	設定		
	コントロールパネル	22	
	ペンタブレットの向き	12	
	そ		
	操作エリア	7	
	た		
	タッチ入力		
	オプション	26	
	タッチ入力時の問題 (トラブルシューティング)	74	
	タッチによる操作	25	
	使う	24	
	タッチホイール		
	カスタマイズ	34	
	使う	21	
	ダブルクリック	17	
	ダブルクリック距離のカスタマイズ	30	
	タブレットドライバ		
	アンインストール	82	
	ドライバのダウンロード	80	
	て		
	テクニカルサポート	79	
	デジタルインク機能	91	
	テスト		
	タッチホイール	69	
	ファンクションキー	69	
	ペン	70	
	ペンタブレット	66	







電池寿命	61	も	
電池を交換する	62	持ち方 (ペン)	16
と		ら	
ドラッグ	17	ラジアルメニュー	46
トラブルシューティング	65	わ	
Mac の問題	77	ワイヤレスキット	
Windows の問題	76	構成	54
一般の問題	71	取り付け	55
情報	71	ワイヤレス通信	
タッチ入力時の問題	74	最適化	57
ペン入力時の問題	72	状態の確認	59
ワイヤレス通信の問題	75	省電力機能	60
ひ		ワイヤレス通信の確立	56
筆圧を使って描画する	17	ワイヤレスモジュール	55, 63
ふ		ワイヤレスレシーバー	55, 63
ファンクションキー			
カスタマイズ	33		
へ			
ペン			
カスタマイズ	29		
傾きを使って描画する	17		
クリック	17		
消しゴムを使う	17		
サイドスイッチ			
カスタマイズ	32		
使う	18		
芯を交換する	81		
ダブルクリック	17		
テスト	70		
特徴	9		
入力時の問題 (トラブルシューティング)	72		
筆圧を使って描画する	17		
ペン先の交換	81		
持ち方	16		
ペン先			
交換	81		
ほ			
ポインタの移動 (ペン)	17		
ボタン機能	39		
本書について	5		
ま			
マウス	87		
マッピング			
タブレット操作エリア	38		
表示エリア	37		
マルチディスプレイ	14		
め			
メンテナンス	80		





このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5337-6514

修理依頼

受付 No. \_\_\_\_\_

発信 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※ 修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。		
	E-mail :	_____		
TEL ( ) ( )		FAX ( ) ( )		

タブレット	型式	PTH-451、PTH-651、PTH-851		シリアル番号		
	タブレットドライバ	バージョン :				
	購入年月日	年	月	日		
使用環境	使用コンピューター	メーカー :	機種名 :			
		モデム内蔵 Yes・No	使用 OS	(バージョン : )		
	使用アプリケーション	(バージョン : )				
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート	
		他の USB 機器				
		USB ハブ				
		ディスプレイ				
		ビデオカード				
その他						
内容	現象発生日	年	月	日		
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 : )				
	_____					

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

